

教育に関する事務の点検・評価報告書

(令和3年度事業)

令和4年11月

印西市教育委員会

目 次

1	点検評価について	1 頁
	(1) 趣旨	2 頁
	(2) 点検評価の対象	2 頁
	(3) 点検評価の方法	2 頁
	(4) 点検評価結果の構成	3 頁
2	印西市の教育施策	4 頁
	(1) 教育施策の基本理念	5 頁
	(2) 主な施策	6 頁
	(3) 教育施策の体系	9 頁
	(4) リーディング施策	10 頁
3	点検評価結果	12 頁
	(1) 点検評価結果目次	13 頁
4	評価のまとめ	51 頁
	(1) 評価内訳	52 頁
	(2) 施策別評価	55 頁
	(3) 学識経験者の知見の活用	55 頁

1 点検評価について

(1) 趣旨

市教育委員会では、平成19年6月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、毎年、教育行政事務の管理執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表しています。昨年度は、令和2年度の「印西市の教育施策」について「点検・評価」を実施し、各分野の学識経験者の皆様よりご意見をいただき、報告書を取りまとめ、公表しました。この「内部点検評価」の作業及びいただいたご意見を参考にすることで、令和3年度中に施策の進捗状況を再確認し、効果的な施策の展開に寄与することができたと考えております。

今年度も令和3年度の「印西市の教育施策」について「点検・評価」を実施し、報告書に取りまとめました。これを公表し、市民の皆様からご意見をいただき、よりよい教育の実現に向けて、取り組みを進めてまいりたいと考えております。

(2) 点検評価の対象

点検評価の対象は、令和3年度の「印西市の教育施策」（以下「教育施策」という。）における事業の実施内容とします。

(3) 点検評価の方法

点検評価の方法は、教育施策中の「事業」毎に、令和3年度に実施した実施内容及び実績を明らかにし、内部評価を客観的に行うものとします。

また、事業の評価をもとに今後の施策の方向性を検討することとします。

なお、法律に明記されている「学識経験を有する者の知見の活用」については、「印西市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価実施要綱」を定め、学校教育、生涯学習、それぞれの分野の学識経験を有する方を「印西市教育委員会点検評価委員」（以下「点検評価委員」という。）として委嘱しご意見をいただくこととします。

(点検評価の流れ)

○事業点検…「事業」毎の事業内容点検、今後の施策の方向性の検討
(点検者：担当課長)

↓

○施策評価…「事業」毎の評価、今後の施策の方向性の確認
(評価者：教育長、部長、点検評価委員)

↓

○総合評価…教育委員会会議における最終評価（評価者：教育委員）

(4) 点検評価結果の構成

教育施策中の「主な施策」毎の「主な取り組み」における「事業内容」を、令和2年度に実施すべき事業目標と位置付け、この実施状況について点検を行い、「事業」毎に内部評価しています。また、「主な取り組み」ごとに今後の施策の方向性を検討し、記載しています。

表の項目について

○事業……「主な取り組み」毎に掲げている事業です。

○事業内容（令和3年度目標）……事業の具体的内容です。教育施策は、当該年度の事業計画書であり、教育施策中の「主な取り組み」における「事業内容」は、実施すべき具体的事業内容であることから、令和3年度目標と位置付けています。

○令和3年度実績……令和3年度目標に対し、実際に実施した事業の内容、回数などを具体的に記載しています。

○事業評価……事業の進捗を点検し、印西市教育委員会が内部評価しました。評価指標は「S、A、B、C」の四段階評価とし、以下の内容を基準としています。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できず、評価できなかった事業は、－としました。

S 事業の目標が達成され、計画以上の施策の進捗が認められる。

A 事業の目標が概ね達成され、施策の進捗が認められる。

B 目標の一部が達成できなかった。

C 未達成事業が多く、施策の進捗がほとんど認められない。

－ 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が実施できず、評価できなかった。

○今後の施策の方向性……事業評価を踏まえた今後の施策の方向性を記載しています。

《参 考》地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

〔昭和31年6月30日法律第162号〕

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 印西市の教育施策

印西市基本構想

将来都市像
住みよさ実感都市 ずっと このまち いんざいで

将来都市像実現のための政策

- 1 誰もが安心して健康で明るく暮らせるまちをつくります《安全・安心・健康福祉》
- 2 子どもたちの未来を育み誰もが心に豊かさをもたらすまちをつくります《子育て・教育・文化》
- 3 地理的優位性をいかした活力あふれるまちをつくります《産業・交流》
- 4 自然と都市が調和する快適で人にやさしいまちをつくります《まちづくり・生活環境》
- 5 市民と行政が力を合わせ持続可能なまちをつくります《住民自治・協働・行財政》

印西市教育大綱

印西市教育振興基本計画

教育施策

教育の基本理念 【だれもが輝き ともにはばたく いんざいの学び】

主な施策

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む〔学校教育〕

- 1 学ぶ力，豊かな心，健やかな体を育む教育の推進
- 2 安全で安心できる教育環境づくり

II. 生涯を通して学び，スポーツに親しめる環境づくりを推進する

〔生涯学習・生涯スポーツ〕

- 1 年齢にとらわれずいきいきと暮らすための生涯学習活動
- 2 地域で子どもたちを守り育てる環境づくり
- 3 市民が参加しやすいスポーツ環境の整備と推進体制の充実
〔健康子ども部と連携・協力〕

III. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る〔文化芸術〕

- 1 創造性を育む文化芸術活動の推進・継承
- 2 文化財の保護・活用
- 3 市史編さん事業の推進

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む〔学校教育〕

変化の激しい社会を生き抜くために必要な生きる力の育成に向け、「学ぶ力・豊かな心・健やかな体」をバランスよく育むとともに、自らの能力を引き出し、習得したことを活用して、様々な課題に対し主体的に解決できる児童生徒を育成する必要がある。

「学ぶ力」の育成として学力の向上を中心にすえ、児童生徒の個性を伸ばす教育を推進し、言語能力や情報活用能力、英語教育や特別支援教育、幼児教育など現代的な諸課題に求められる資質・能力の育成に努める。また、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、職員研修の充実と指導方法の工夫改善を図る。

「豊かな心」の育成として道徳科を要とし、「考え、議論する道徳」への転換を図るとともに、音楽活動や芸能鑑賞、体験活動を通して豊かな情操を育む。また、児童生徒個々の心身の発達や特性に即した児童生徒理解と教育相談を充実させ、いじめや不登校などへのきめ細かな支援と組織的な対応に努める。

「健やかな体」の育成として体育授業の充実や部活動支援により、児童生徒の体力の向上を図る。また、健康診断や保健指導を実施し、学校環境衛生の改善に努めるとともに、食に関する指導を推進し、安全安心で栄養バランスのとれた給食を提供する。

さらに、子どもたちが安全で安心できる学校生活を送り、健やかな成長を支えられるような教育環境づくりとして、学校施設や学校給食センター及び就学援助の整備、学校の適正規模・適正配置や安全教育の充実、地域と連携した開かれた学校づくりや情報化社会に対応した教育の推進を図る。

II. 生涯を通して学び、スポーツに親しめる環境づくりを推進する〔生涯学習・生涯スポーツ〕

生きがいを持ち、心豊かで充実した生活を送れるよう、生涯にわたって学習できることが重要となっている。さらに、国際化・情報化等の進展に伴う、価値観の多様化と社会の急速な変化に対応するため、情報を見極め、個人の適性に応じた知識や技術を習得し、活用していく必要性が高まっている。

こうした市民の多様な学習ニーズと現代的課題に適切に対応するため、多様な生涯学習情報と公民館・図書館等の学習活動の場を提供することにより、学習機会の

拡充を図り、「いつでも・どこでも・だれでも」生涯にわたってさまざまな分野で自ら学ぶことのできる学習環境をつくり、市民の生涯学習活動を推進する。

また、公民館や図書館等の生涯学習・社会教育施設の維持・管理や指導者の確保、高等教育機関等との連携・協力を図り、生涯学習推進体制を充実する。

さらに、親と子の絆を強めて、子どもの生きる力の基礎となる家庭教育を充実させるとともに、子ども達が安全・安心で健やかに成長できるように、地域で行われる青少年健全育成活動を推進し、地域で活動する市民団体を支援する。

スポーツ・レクリエーション活動は、市民の「こころ」と「からだ」の健全な発展をうながし、明るく豊かで活力に満ちた生きがいある社会の形成に寄与するものである。しかし、社会背景の変化に伴い、運動不足や体力の低下が問題となってきている。

このような状況の中で、本市においても高齢化の進展、余暇時間の増大、そしてライフスタイルの個性化・多様化などにより、スポーツに対する関心が高まり、気軽にスポーツ・レクリエーション活動へ参加できる機会の拡充が強く求められている。

このことから、市民が心身ともにたくましく健康で明るい生活が送れるよう、生涯にわたってそれぞれの体力や年齢に応じたスポーツ・レクリエーション活動に親しめる機会の拡充に協力する。

※ 令和元年度から組織改編によりスポーツ振興課が市長部局の「健康子ども部」へ移管されたことに伴い、生涯スポーツ分野の各事業については、引続き連携・協力することとする。

Ⅲ. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る

〔文化芸術〕

私たちを取り巻く社会環境の大きな変化に伴い、多様なライフスタイルが追求され、暮らしに生きがいやゆとり、潤いをもたらす文化的価値が重視されてきている。

こうした中で、市民一人一人がゆとりある充実した生活をおくるためには、文化に親しみ、自ら文化創造の担い手となることを基本として、魅力に富んだ地域文化の形成が求められている。

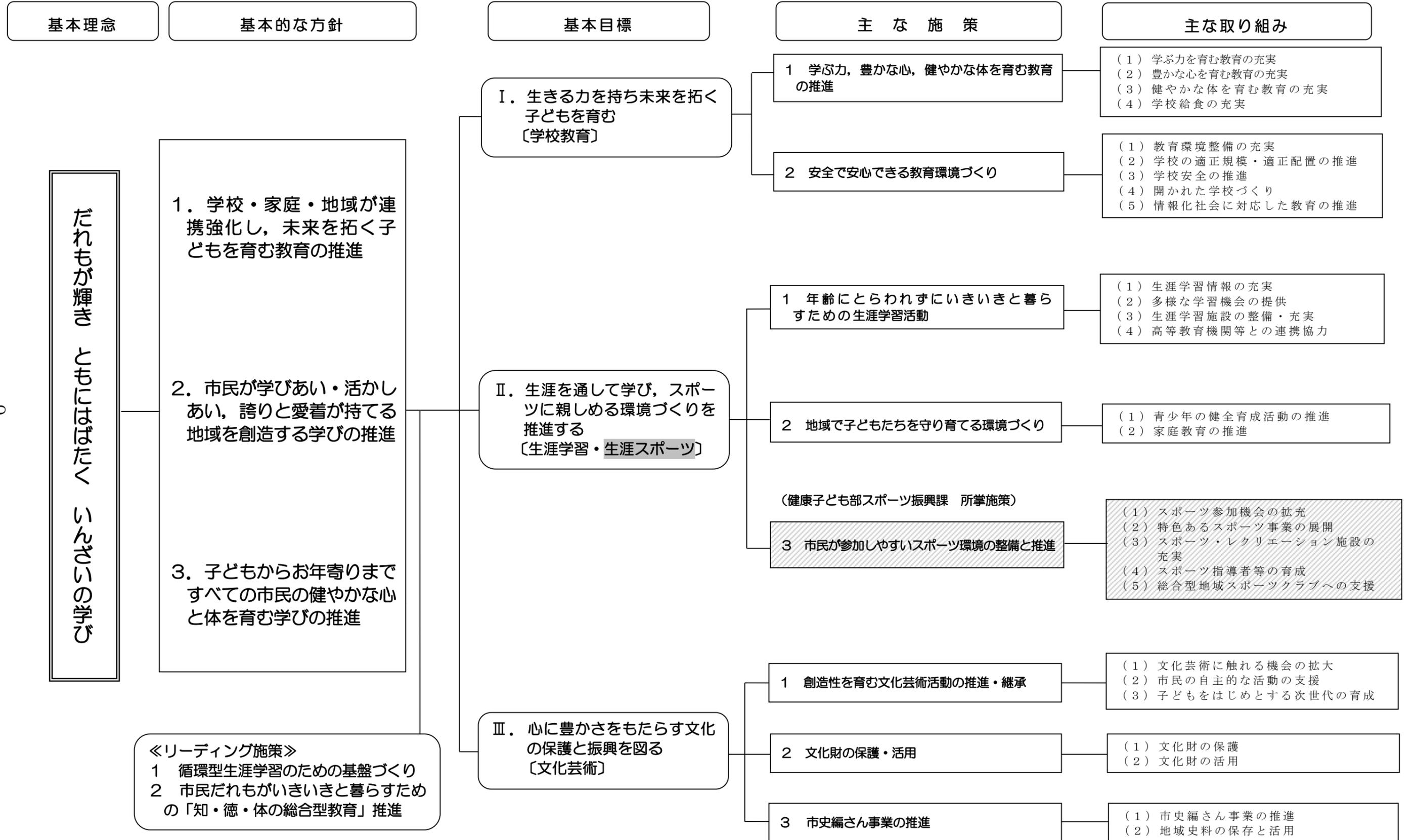
また、文化は古くからその地域の自然・歴史・伝統と共存しながら、そこに住む人々の長い生活の営みによって生まれ、独自のものを形成してきた。ところが、昨

今の急激な都市化の進展に伴い、社会構造や生活環境が大きく変貌する中で、伝承されてきた生活技術や習慣の多くが忘れ去られようとしている。

このことから、市民の自主的で創造的な文化芸術活動の推進や市民の文化芸術に対する関心を高めるため学習機会や学習情報の提供などを積極的に行い、ゆとりと潤いのある文化芸術活動の盛んなまちづくりを展開する。

さらに、市民の心のよりどころとなる文化遺産を保護し、次の世代に継承するため、積極的に調査研究するとともに、その保存・活用に努め、伝統文化の振興を図る。

印西市の教育施策の体系



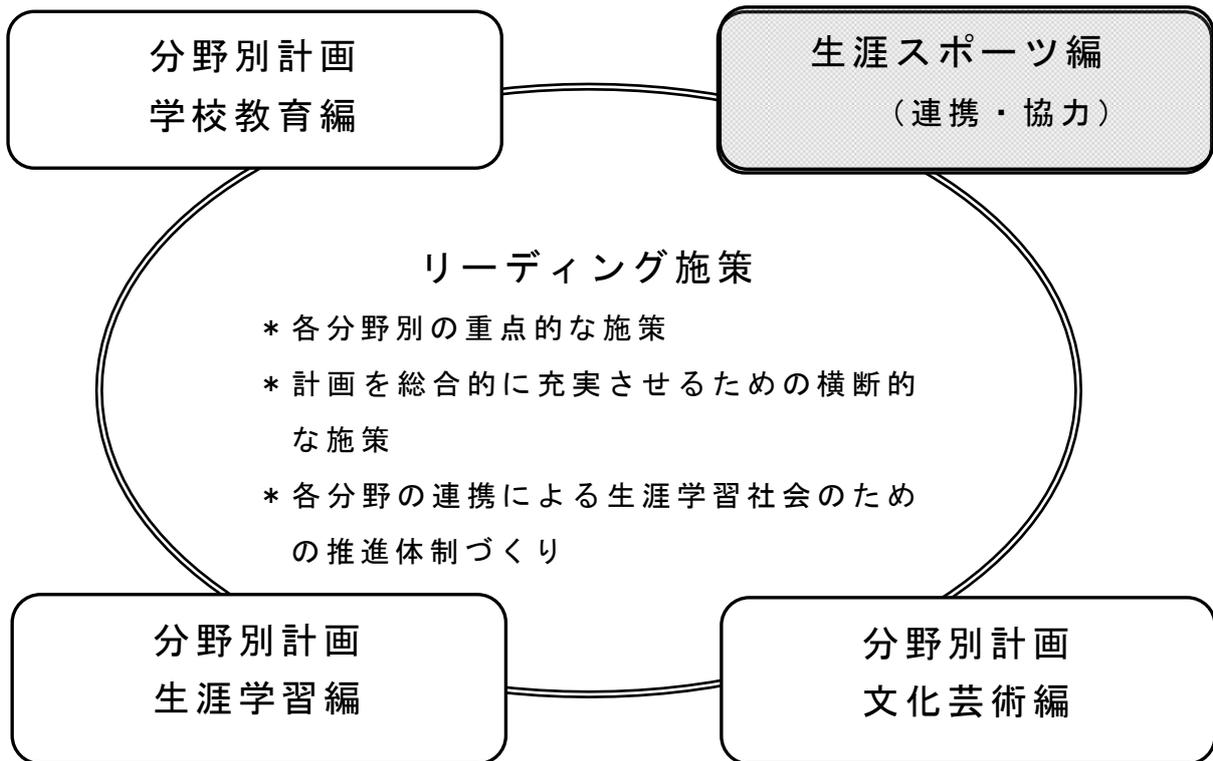
リーディング施策の位置づけ

リーディング施策は、基本理念や基本方針を実現するために、印西市教育振興基本計画（平成30年度～平成33年度）全体を先導していく施策や横断的に関連する施策を連携させることで相乗効果を発揮することを目的として位置付けます。

そのため、「たくましく生きる子どもたちを育成する学校教育」や「すべての市民の学習環境を充実させ、それらの学習や活動成果を活かして互いが地域社会に参画する本市独自の生涯学習社会の構築」を目指すことが、重点課題となります。

そこで、教育振興基本計画のリーディング施策は、学校教育、生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術分野の充実を横断的に推進するとともに、学習成果や人材を活かす体制等を設定します。

〔リーディング施策の位置づけのイメージ〕



リーディング施策(平成 30 年度～33 年度)

リーディング施策 2	市民だれもがいきいき暮らすための「知・徳・体の総合型教育」推進
リーディング施策 1	循環型生涯学習のための基盤づくり
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① さわやかコミュニティ地域推進会議などを活用し、学校との連携を推進します。 ② 市民アカデミーや出前講座などにより、人材の発掘に努めます。 ③ 地域の生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術の活動や人材の情報共有や交流を進めます。 ④ 学校教育において必要な活動を学校と地域・家庭が連携・協力する仕組みを構築し、学校との連携を強化し、人づくり・地域づくりを推進します。
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の充実 ○ 市民アカデミー ○ 生涯学習まちづくり出前講座 ○ 放課後子ども教室 ○ 公民館・地域交流館主催事業
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を通じて、子どもから高齢者まですべての市民のスポーツや健康に対する関心を高めます。 ② 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会キャンプ地誘致を通じて、海外チームと市民や学生とのスポーツ、文化などの交流を推進します。 ③ 子どもの頃から文化芸術に親しむ機会を増やすことや地域に根差した文化芸術活動を充実させ、学校教育や生涯学習と連携しながら、「知」「徳」のライフステージに合わせた学びを充実させます ④ 大学などと連携して、「知」「徳」「体」の連携方策を検討し、「総合型プログラム」を作成する体制を検討します。 ⑤ 子どもの「総合型プログラム」を、将来的には関係各課と連携をとりながら、乳幼児から高齢者までのプログラムとして作成し、市民の健やかな心と体を育む学びを推進することを検討します。
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合型プログラム作成事業 ○ 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に関連するスポーツ・文化・芸術イベントの推進 ○ 家庭教育学級の充実 ○ 文化芸術事業の充実 ○ 地域文化活動の支援

《リーディング施策アクションプラン》

[令和3年度 主な取り組み]

- * 子どもの「総合型プログラム」を、将来的には市全体のプロジェクトとして、乳幼児から高齢者までのプログラムとして作成し、市民の健やかな心と体を育む学びを推進することを検討します。

3 点検評価結果

点検評価結果 目 次

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む〔学校教育〕

1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進

- | | |
|-------------------|-----|
| (1) 学ぶ力を育む教育の充実 | 14頁 |
| (2) 豊かな心を育む教育の充実 | 19頁 |
| (3) 健やかな体を育む教育の充実 | 21頁 |
| (4) 学校給食の充実 | 23頁 |

2 安全で安心できる教育環境づくり

- | | |
|---------------------|-----|
| (1) 教育環境整備の充実 | 24頁 |
| (2) 学校の適正規模・適正配置の推進 | 24頁 |
| (3) 学校安全の推進 | 25頁 |
| (4) 開かれた学校づくり | 26頁 |
| (5) 情報化社会に対応した教育の推進 | 27頁 |

II. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

〔生涯学習・生涯スポーツ〕

1 年齢にとらわれずにいきいきと暮らすための生涯学習活動

- | | |
|-------------------|-----|
| (1) 生涯学習情報の充実 | 28頁 |
| (2) 多様な学習機会の提供 | 29頁 |
| (3) 生涯学習環境の整備・充実 | 31頁 |
| (4) 高等教育機関等との連携協力 | 32頁 |

2 地域で子どもたちを守り育てる環境づくり

- | | |
|-------------------|-----|
| (1) 青少年の健全育成活動の推進 | 33頁 |
| (2) 家庭教育の推進 | 35頁 |

III. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る〔文化芸術〕

1 創造性を育む文化芸術活動の推進・継承

- | | |
|----------------------|-----|
| (1) 文化芸術に触れる機会の拡大 | 36頁 |
| (2) 市民の自主的な活動の支援 | 37頁 |
| (3) 子どもをはじめとする次世代の育成 | 38頁 |

2 文化財の保護・活用

- | | |
|------------|-----|
| (1) 文化財の保護 | 39頁 |
| (2) 文化財の活用 | 40頁 |

3 市史編さん事業の推進

- | | |
|----------------|-----|
| (1) 市史編さん事業の推進 | 42頁 |
| (2) 地域史料の保存と活用 | 42頁 |

◇ リーディング施策

- | | |
|-------------------------------------|-----|
| 1 循環型生涯学習のための基盤づくり | 43頁 |
| 2 市民のだれもがいきいき暮らすための「知・徳・体の総合型教育」の推進 | 47頁 |

点検評価調書

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む[学校教育]

1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進

(1) 学ぶ力を育む教育の充実

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
①個性や能力を伸ばす教育の推進 (ア) 個性や能力を伸ばす教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○学級経営相談支援の実施 ○漢字級別認定テスト「印西漢字マスター」の実施 ○計算力認定テスト「印西計算マスター」の実施 ○社会科ワークテストの活用 ○生徒指導の機能を重視した「わかる授業」展開の推進 ○基礎学力向上のための取組の推進 ○個に応じた指導方法の工夫・改善及び指導体制の充実 ○ICTを活用した授業づくりの推進と支援 ○学校支援ボランティア・学生ボランティアの活用 (順天堂大学、秀明大学、日本医科大学看護専門学校との連携) ○教職インターンシップ「あすなる先生」の派遣 (秀明大学との連携) ○デジタル教材の効果的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○2校からの要請に応じて学校を訪問し、対象者に基本的な授業技術や学級経営について指導助言した。 ○年3回実施し、のべ12,000名を超える児童生徒が受検した。 ○年3回実施し、のべ12,000名を超える児童が受検した。 ○社会科副読本「わたしたちの印西市（小学3・4年生版）」に準拠したワークテストを改訂、活用を推奨した。 ○46回の要請に応じて学校を訪問し、授業研修会等で助言・支援した。 ○各校でドリルタイム設定等の工夫をし、計算・漢字等の基礎学力の向上を図った。 ○各種研修会において教職員の資質向上を図るとともに、学習指導員等の配置やボランティアの活用を行った。 ○一人一台端末の活用に向けて、集合研修9回、少人数研修18回を実施し、ICT活用推進に努めた。 ○各学校合計623名のボランティアの協力を得て、学習支援の充実と環境整備等の推進を図った。 ○41名の学生を17小学校及び6中学校に派遣し、学生の教職インターンシップを支援した。 ○1人一台端末を利用し、web上の素材を授業で効果的に利用できるよう支援した。
事業評価	A	
②確かな学力を育むための研修の充実 (ア) 教職員研修（主任・層別等）の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○教頭研修会の開催 ○教務主任研修会の開催 ○生徒指導担当者研修会での指導・助言 ○情報教育研修会の開催 ○国際理解教育担当者研修会の開催 ○学校図書館担当者研修会の開催 ○体育主任研修会の開催 ○安全主任等研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の教頭を対象に、2回の研修会を実施した。 ○小中学校の教務主任を対象に、5回の研修会を実施した。 ○小中学校の生徒指導担当者を対象に、3回の研修会を計画したが、新型コロナウイルス感染症対策のため2回は中止、1回は実施した。 ○4回の集合研修を実施し、情報教育の推進と機器の操作方法について周知を図った。 ○小中学校の国際理解教育担当者を対象に、1回の研修会を計画したが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。 ○小中学校の学校図書館担当者を対象に、図書システム研修会を2回計画したが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。 ○小学校体育科主任研修会を対面で1回、中学校保健体育科主任研修会を書面開催で実施した。 ○小中学校の安全主任を対象に、1回の研修会を実施し、安全主任の役割や通学路の点検について確認した。

点検評価調書

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む[学校教育]

1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進

(1) 学ぶ力を育む教育の充実

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
(イ) 指導法等の研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○養護教諭研修会の開催 ○特別支援教育コーディネーター研修会の開催 ○教育相談研修会の開催 ○若年層研修会の開催 ○非常勤職員研修会の開催 ○学習指導法等に関する研修会の開催 ○教科教材研究等に関する研修会の開催 ○道徳教育授業研修会の開催 ○実技研修会の開催 ○ICT実技研修会及びICT活用研修会の開催 ○特別支援教育研修会の開催 ○授業相談支援の実施 ○各種出前授業の開催 ○学校給食センター職員研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の養護教諭を対象に、3回の研修会を実施した。 ○小中学校の特別支援コーディネーターを対象とした研修会を1回実施した。 ○小中学校の希望する教職員を対象に3回の研修会を実施した。 ○臨時的任用講師・非常勤講師を対象とした研修会を5回実施した。 ○小中学校の学習指導員・介助員、幼稚園の補助教員・支援員を対象に2回の研修会を実施した。 ○小中学校の希望する教職員を対象に3回の研修を計画したが、新型コロナウイルス感染症対策のため1回実施した。 ○小中学校の希望する教職員を対象に1回の研修を実施した。 ○市小中学校の道徳教育担当者を対象に、校内での授業研究を含め、合計3回の研修を実施した。 ○新型コロナウイルス感染症対策のため、実技研修の実施は見合わせた。 ○小中学校の希望する職員を対象に、4回の集合研修を行った。 ○小中学校の特別支援教育担当者を対象とした研修会を1回実施した。 ○小中学校の要請に応じて、指導主事等が授業づくり、学級経営、校内研究及び研究発表等に関する指導・助言を46回実施した。 ○小中学校の要請に応じて、児童生徒・保護者を対象に、指導主事等によるSNSネットリテラシー出前授業を10回実施した。 ○学校給食センター職員や他課の職員を対象に、学校給食センターの施設管理、衛生管理、調理過程等に関する職場研修を1回実施した。
(ロ) 校内研修の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○授業研修・理論研修での指導・助言 	<ul style="list-style-type: none"> ○各小中学校に指導主事等を46回派遣し、指導・助言を行った。
事業評価	A	
③教育課題への指導・支援の充実 (ア) 教育課題の調査・研究・開発	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力調査と活用 ○教育に関する調査・研究・開発 ○研究校等、特色ある教育活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導主事を派遣し、思考力・判断力・表現力の育成を中心に指導・助言を行った。 ○全国学力・学習状況調査、千葉県標準学力検査の結果について調査し、考察を加えた冊子を作成し、各校に指導法改善の周知を図った。 ○外国語教育、情報教育、環境教育、福祉教育、金融教育、オリンピック・パラリンピック教育などの特色ある教育活動を行う8小学校及び4中学校への支援を行った。

点検評価調書

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む[学校教育]

1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進

(1) 学ぶ力を育む教育の充実

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
(4) 教育研究団体支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ○教材の研究開発 ○教科指導法の指導・支援 ○市教育研究会への指導・助言 ○各研究団体の活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育センターにおいて、社会科ワークテストや漢字・計算検定、SNS等対応ネットリテラシー教材等を改訂した。 ○小中学校の要請に応じて、指導主事等が教科指導に関する指導・助言を行った。 ○要請に応じて、指導主事等を4校の授業研修会に派遣し、指導・助言を行った。 ○要請に応じて、指導主事等を派遣し、活動支援を行った。
事業評価	A	
④幼児教育の充実 (7) 情報提供と学習機会の充実（幼稚園） (4) 幼稚園・小学校・中学校の連携 (9) 個に応じた教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児教育に関する様々な情報の提供 ○園外研修等への積極的な参加 ○組織的・計画的な園内研修の推進 ○保護者会や地域懇談会の開催 ○職場見学や職場体験を通しての交流 ○諸行事を通じた交流 ○情報交換会の開催 ○子ども発達センターや関係各課との連携 ○指導補助や支援のための非常勤職員の配置 ○相談支援ファイル（コスモスファイル）を活用した早期就学相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者会や園だより等を通じ、園児の様子や幼児教育に係る情報を積極的に提供した。 ○県主催の年2回の特別支援コーディネーター研修会に参加した。 ○年間計画に基づき、非常勤職員等も含めた園内研修を実施した。 ○新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者会は書面開催とし、地域懇談会は中止した。 ○小学校の職場見学学習や中学校の職場体験学習を通しての交流を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。 ○学習発表会や合唱祭、生活科授業等を通しての交流を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。 ○就学前の幼児についての情報交換のみ行った。 ○関係課の職員と連携し、全小中学校への巡回訪問を2回行い、児童生徒の指導・支援に関して情報共有を図った。 ○2幼稚園に補助教員7名、支援員6名を配置した。 ○コスモスファイルを活用し、年間を通じた個別の就学相談を実施した。
事業評価	A	
⑤読書活動の推進 (7) 学校図書館の資料の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書システムの活用による学校間貸し出しの推進 ○計画的な図書資料の選定と購入 ○蔵書点検の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○図書システムを活用し、9の小中学校間で合計46冊の貸し出しを行った。 ○文部科学省が示す学校図書館図書標準に基づき、児童生徒への指導に適した蔵書の選定及び購入を行った。 ○新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、9校の蔵書点検を実施した。

点検評価調書

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む[学校教育]

1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進

(1) 学ぶ力を育む教育の充実

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
(イ) 市立図書館との連携事業の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○学校図書館担当者会議、学校司書連絡会での情報交換 ○市立図書館からの団体貸し出しの利用促進 ○スクール便貸し出し事業 ○図書館司書研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校司書を対象とした連絡会を11回実施した。学校図書館担当者会議は新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。 ○小中学校の要望に応じて、市立図書館から学校へ35件、2,519冊の団体貸し出しを利用した。 ○市立図書館からスクール便として、17小学校及び3中学校に年3回ずつ、書籍のセット貸し出しを利用し、読書活動推進を図った。 ○学校司書を対象とした連絡会を11回実施した。
(ロ) 学校図書館の環境整備と機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○学校司書の適切な配置 ○学校司書連絡会の定期的な開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○全小中学校に学校司書13名を配置した。 ○オンライン形式・集合形式を取り入れ、学校司書を対象とした連絡会を11回実施した。
事業評価	A	
⑥国際理解教育の推進		
(ア) 国際理解教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語指導助手（ALT）及び日本人英語教育コーディネーターの活用 ○日本語指導員の派遣 ○小学校中学年の外国語活動及び高学年の外国語科の充実 ○小学校低学年における国際理解教育の推進 ○イングリッシュアカデミーホップ（小学3・4年生対象の英語研修会）の実施 ○イングリッシュアカデミーステップ（小学5・6年生対象の英語研修会）の実施 ○イングリッシュアカデミージャンプ（中学生対象の海外派遣研修）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○全幼小中学校に13名のALTを、18小学校に9名の英語教育コーディネーターを配置し、コミュニケーション能力の育成に向けた実践力の向上を図った。 ○3名の日本語指導員を5校に配置し、外国人児童生徒や帰国児童生徒の円滑な学校生活や学習活動の保障を行った。 ○全小学校において、3・4年生は年間35時間の外国語活動を、5・6年生は年間70時間の外国語科の授業を実施した。 ○各小学校において、外国語活動や休み時間等でALTと触れ合う機会を多く設けた。 ○ALTを活用し、夏季休業中に小学校3・4年生を対象とした半日の研修を2回実施した。 ○ALTを活用し、夏季休業中に小学校5・6年生を対象とした半日の研修を2回実施した。 ○3月末に海外派遣研修を計画したが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。
事業評価	B	
⑦特別支援教育の推進		
(ア) 特別支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成と活用 ○指導補助や支援のための非常勤職員の配置 ○校内支援体制の充実 ○定期の巡回相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校において個別の指導計画・個別の教育支援計画を作成し、具体的な指導・支援に活用した。 ○小・中学校において学習指導員46名、介助員42名を配置した。 ○児童生徒の教育的ニーズに応じて、支援学級・通常学級間の交流学習を行うとともに、校内では組織的対応を図った。 ○関係課の職員と連携し、全小中学校への巡回訪問を2回行い、児童生徒の指導・支援に関して情報共有を図った。

点検評価調書

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む[学校教育]

1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進

(1) 学ぶ力を育む教育の充実

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
(イ) 就学指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○専門家チーム会議の活用 ○家庭、医療、関係機関等との連携 ○適応指導教室との連携 ○特別支援教育に関する研修会の開催 ○コスモスファイルを活用した児童生徒理解 ○就学指導委員会の開催 ○コスモスファイルを活用した早期就学相談の実施 ○関係課担当者会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○専門家チーム会議を2回実施し、事例検討を中心に行った。 ○児童生徒個々の教育的ニーズに合わせて対応できるよう、必要に応じて印西総合病院や国際医療福祉大学成田病院と指導・支援の方法に関する情報共有及び連絡調整を図った。 ○児童生徒個々の教育的ニーズに合わせて対応できるよう、必要に応じて指導・支援の方法に関する情報共有及び連絡調整を図った。 ○小中学校の特別支援教育担当者を対象とした研修会を1回と、学習指導員及び介助員等を対象とした研修会を2回実施した。 ○就学相談でコスモスファイルを活用して相談を行った。 ○11名の委員により、4回の委員会を実施した。 ○5月に就学相談会を実施した。また、年間を通して個別の就学相談を実施した。 ○5課担当者会議を7回実施した。ネットワーク部会は2回計画したが、新型コロナウイルス感染症対策のため、1回をオンデマンドの動画視聴で開催し、1回は中止とした。
事業評価	A	
⑧キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校職場体験学習（印西市生き生き体験）の実施と小学校職場見学学習の支援 ○地域の企業、職業人との連携 ○キャリアパスポートへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○市内165事業所の協力のもと、全中学生を対象に職場体験学習を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止し、代替として職業人を招き、講話会等を実施した。小学生を対象に、一部事業所での職場見学を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。 ○各学校で民間事業所の方や職業人を講師に招き、講話会等を実施した。 ○市内全小中学校、児童生徒一人ひとりにキャリアパスポートを配布し、キャリア教育の推進を図った。
事業評価	B	

今後の施策の方向性	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、中止したり縮小したりした事業もあったが、可能な範囲で事業を実施し児童生徒の学ぶ力を育むことができた。</p> <p>今後も感染症対策を行いながら、可能な限り計画どおりの事業が進められるよう工夫していく。</p> <p>会議や研修会、連絡会においては、実施内容や回数、開催方法について検討し、効果的・効率的に実施していく。</p> <p>一人一台端末の活用について、教職員の技能や意識を向上していけるよう支援の充実を図りたい。</p>
-----------	---

点検評価調書

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む[学校教育]

1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進

(2) 豊かな心を育む教育の充実

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
④きめ細やかな教育支援の推進 (7) 適応指導教室事業の推進 (1) 教育相談の充実	○適応指導教室の充実 ○適応指導教室連絡会の実施 ○面接相談・電話相談の充実 ○不登校児童生徒等の相談の充実 ○関係機関との連携 ○訪問指導の充実 ○スクールカウンセラー等の活用 ○学校諸問題に対する助言・指導	○「緑のまきば」「森のステーション」2つの適応指導教室を運営し、小学生6名、中学生19名が在籍した。 ○感染症対策とより丁寧な個別指導の観点から、適応指導教室連絡会ではなく個別の保護者面談を実施した。 ○面談件数は90件、電話相談件47件のうち、子ども相談室の利用は27件であった。 ○定期的にケース会議を実施し、訪問相談担当教員やスクールソーシャルワーカー等との連携を図った。 ○学校だけではなく、市の子育て支援担当課や医療機関との連携を図った。 ○訪問相談担当教員やスクールソーシャルワーカーを活用し、相談の充実を図った。 ○9中学校、3小学校に配置されたスクールカウンセラーが、児童生徒及び保護者の相談に関わった。 ○2名の学校問題対策指導員が、学校の諸問題に対して、広い視野から総合的見地に立って117回の指導・助言を行った。
事業評価	A	

今後の施策の方向性	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため集合型・体験型の事業を中止することもあったが、多くの事業については、内容を変更したり、人数や時間を縮小したりしながら実施することで、児童生徒の豊かな心を育むことができた。</p> <p>今後も従来どおりの実施方法にとらわれず、感染症対策を行いながらの効果的・効率的な実施を検討していく。</p> <p>児童生徒への心の教育、いじめや不登校、悩みを抱える児童生徒への支援のため、関係・専門機関との適時かつ継続的な連携を図っていく必要がある。</p>
-----------	---

点検評価調書

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む[学校教育]

1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進

(3) 健やかな体を育む教育の充実

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
①学校体育の充実 (7) 学校体育の充実 (4) 運動部活動の充実	○体育主任会議の開催 ○小学校駅伝競走大会の開催 ○中学校武道学習における外部指導者の活用 ○授業や大会等における順天堂大学との連携強化 ○運動に親しむ能力を育成するための授業改善指導 ○体力・運動能力調査の集計・分析 ○部活動サポート事業による指導者派遣 ○部活動補助金交付事業による経済的支援 ○部活動の適切な運営に向けた指導・助言	○会議を2回、研修会を小中学校1回ずつ実施する計画であった。中学校の研修会1回を書面開催としたが、その他は対面で実施した。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、応援児童なしなどの縮小はしたが、全小学校が参加し実施した。 ○県の特別非常勤講師配置事業により、1中学校に1名の外部人材を配置し、活用した。 ○小学校駅伝競走大会にて、伴走等で協力を得て実施した。また、小中学校14校のオリバラススポーツ教室で協力を得た。 ○各校からの要請に基づき、指導主事を派遣し、体育科（保健体育科）学習の授業改善を図った。 ○とりまとめた集計結果を各学校に周知し、各学校での体育科（保健体育科）学習や体力向上の取組に生かした。 ○部活動サポーター20名を派遣し、技能及び競技力の向上を図った。 ○各種大会及び関東大会・全国大会参加者19人の交通費等の経費について支援を行った。 ○活動方針や活動報告、日々の活動の様子を確認し、安全で適切な部活動運営ができるように助言を行った。
事業評価	A	
②学校保健衛生の充実 (7) 健康教育の推進 (4) 学校保健会の活動の充実	○保健指導教材の整備 ○薬物乱用防止教育の推進 ○養護教諭、新生児科医によるいのちの授業の実施（中学生対象） ○養護教諭、助産師、保健師等による性に関する指導の実施（小学6年生・中学3年生対象） ○学校医、学校歯科医、学校薬剤師との連携 ○アレルギー対策検討部会、感染症対策検討部会の開催 ○各部会（学校薬剤師、栄養士、養護教諭）の活動の支援 ○「印西市の学校保健」（小冊子）と学校保健会報の発行	○沐浴人形等の貸し出しを3校に行った。 ○北総地区少年センター職員を講師とした薬物乱用防止教室を実施するとともに、薬物の依存性や怖さについて学習する保健領域の授業を行った。 ○中学校3校で実施した。オンラインを活用し、感染症対策にも配慮して実施できた。 ○全小中学校で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため小学校5校、中学校1校が中止となり、小学校13校、中学校8校で実施した。中止した学校にはリーフレットを配布するなどの代替対応を行った。 ○新型コロナウイルス感染症対策のため、学校保健理事会を書面開催した。 ○新型コロナウイルス感染症対策のため、各検討部会を書面開催した。 ○学校薬剤師部会を2回、栄養士部会を3回、養護教諭部会を3回実施した。 ○「印西市の学校保健」を1回、学校保健会報を1回発行した。

点検評価調書

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む[学校教育]

1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進

(3) 健やかな体を育む教育の充実

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
(ウ) 健康診断の実施と事後措置の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ○就学前児・児童・生徒の健康診断の実施 ○健康診断結果の集計と分析 ○個別指導の充実（治療勧告） 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒への定期健康診断（内科・歯科・耳鼻科・眼科・尿検査・結核等）及び就学时健康診断を実施した（一部縮小実施あり）。 ○健康診断結果を「印西市の学校保健」にまとめた。 ○健康診断結果に基づき保護者に治療勧告を行うとともに、個別指導を実施した。
(エ) 小児生活習慣病の予防	<ul style="list-style-type: none"> ○学校医、養護教諭、栄養教諭等による小児生活習慣病予防検討部会の開催 ○小児生活習慣病予防検診の実施（全小学5年生、全中学1・3年生対象） ○養護教諭、栄養教諭等による小児生活習慣病予防教室及び事後指導・個別相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症対策のため、小児生活習慣病予防検討部会を书面開催した。 ○小学5年生、中学1・3年生を対象に、小児生活習慣病予防検診を実施した。 ○養護教諭、栄養教諭等による小児生活習慣病予防教室及び事後指導・個別相談を全校で実施した。
(オ) 口腔衛生事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○学校歯科医、養護教諭、歯科衛生士等による学校歯科保健検討部会の開催 ○学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症対策のため、学校歯科保健検討部会を书面開催した。 ○学校歯科医、歯科衛生士等により、新型コロナウイルス感染症対策のため、ブラッシング指導の実技は実施せず、講義を中心とした保健指導を実施した。
(カ) 保健室機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○保健室の整備 ○健康相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症対策のため、消毒液等の衛生物品の配付を随時行った。 ○養護教諭の資質向上と児童生徒の健康課題解決を目指して、養護教諭部会の中に保健指導班を設け、研鑽を積んだ。
(キ) 学校環境衛生の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○環境衛生検査（水質検査照度検査、空気検査等）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○照度・照明検査、飲料水水質検査、空気環境調査（ホルムアルデヒド・二酸化炭素・二酸化窒素）、ダニアレルゲン検査、配膳室衛生検査を実施した。
事業評価	B	

今後の施策の方向性	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため集合型・体験型の事業を中止することもあったが、多くの事業については、内容を変更したり、人数や時間を縮小したりしながら実施することで、児童生徒の健やかな体を育むことができた。</p> <p>今後も、従来どおりの実施方法にとらわれず、感染症対策を行いながら関係課や関係機関との連携を図り、児童生徒の体と心の健康を保持していきたい。</p>
-----------	---

点検評価調書

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む[学校教育]

1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進

(4) 学校給食の充実

事業	事業内容 (令和3年度目標)	令和3年度実績
①学校給食の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○「印西市食育ミニマム」や食に関する指導の全体計画に基づいた組織的な指導 ○栄養教諭・養護教諭・学級担任等の連携による食育指導 ○栄養教室・食育の授業の開催 (全小学1・3年生、希望による小学校の2・4・6年生対象) ○小児生活習慣病予防教室の開催 (全小学5年生、全中学1年生対象) ○家庭・地域と連携した食育の推進 ○給食レストランの開催 (市民対象) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「印西市食育ミニマム」の職員への周知を行い、組織的な指導の推進に努めた。 ○各種授業や給食時の訪問等で、学校と連携を図りながら実施した。 ○小学校1年生「みんなの給食」を全クラスに実施した。小学校3年生「野菜パワーのひみつ」については、2校で緊急事態宣言中により実施できなかった。小学校2年生「3つのなかまわけ」(13校)、小学校4年生「元気が出る朝ごはんを考えよう」(15校)、小学校6年生「栄養を考えた朝食にしよう」または「1食分の献立をたてよう」(13校)を希望校で実施した。 ○養護教諭及び給食センター栄養士の指導により、小学校5年生「生活習慣病を予防しよう」、中学校1年生「バランスの良い朝食を食べて生活習慣病を予防しよう」を全小中学校で実施した。 ○食育つうしんを年12号発行し、家庭への啓発を行った。授業終了後、指導内容がわかる保護者資料の配付とともに家庭と連携した事後活動を実施した。 ○年4回の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、すべての開催を中止した。
(4) 学校給食の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○献立の工夫と改善 ○衛生管理の徹底 ○給食残渣等の再資源化 ○食物アレルギー対応給食の提供及び研修会の開催 ○食物アレルギーへの対策 ○学校給食センター運営委員会の開催 ○学校給食センター老朽化への対応及び計画的な整備・改修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○印西市産の食材を47%、千葉県産を21%使用し、地産地消を推進した。 ○新型コロナウイルス感染症対策のため講習会等を中止し、衛生管理に関する資料を配付するなど各施設での知識の普及に努めた。 ○業者委託により131,802kgの残渣を収集し再資源化した。 ○特別調理室のある中央学校給食センターにおいて食物アレルギー対応給食の提供を実施した。また、対象校への研修も実施した。 ○食物アレルギーの保健調査票を基に使用食品一覧表、加工食品分析表を保護者に配布し、事故防止に努めた。また、中央学校給食センターでは、対応給食(卵・乳の除去食)の提供を実施した。 ○3回開催(うち1回は書面開催)し、学校給食費の改定、第3子無償化、受配校の見直し、新給食センターの整備などについて説明及び意見を伺った。 ○牧の原学校給食センターにおいては、一般系統空調の更新工事に着手した。他の2センターについては、適切な維持管理を実施した。
事業評価	A	

今後の施策の方向性	<p>食に関する指導の推進については、児童生徒の実態把握を行い、全体計画に基づいた組織的な指導で更なる充実を図りたい。</p> <p>学校給食の充実については、増加している児童生徒数に対し、安全で安心な給食を安定的に提供できるよう施設整備を含め対応していきたい。</p>
-----------	---

点検評価調書

1. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む[学校教育]

2 安全で安心できる教育環境づくり

(1) 教育環境整備の充実

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
①学校・幼稚園施設及び就学援助の充実 (7) 安全な学校・幼稚園施設等の充実 (4) 就学援助の充実	○小・中学校の大規模改修事業及び校舎増築事業 ○管理・教材備品等の整備 ○経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に就学援助を実施	○令和3年度は、牧の原小学校校舎増築工事、原小学校校舎増築工事、滝野中学校校舎増築工事、原山中学校改修工事、高花小学校保全改修工事設計業務を行った。 ○令和3年度は、小学校91台、中学校35台の65型テレビを購入し、普通教室に1台と特別教室分2台ずつの大型モニターの整備を進めた。 ○要保護・準要保護家庭の小学校210名、中学校134名、児童生徒合わせて344名に対して就学援助費を給付した。
事業評価	A	

今後の施策の方向性	<p>今後も計画的な学校施設改修工事及び児童・生徒数の増に対する学校校舎増築工事を行う。</p> <p>就学援助制度については、制度を必要とする家庭が利用できるようにするため、周知方法について検討する。また、学校との連携を深める必要がある。</p>
-----------	--

(2) 学校の適正規模・適正配置の推進

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
①学校の適正規模・適正配置の推進 (7) 学校の適正規模・適正配置の推進	○「印西市学校適正規模・適正配置基本方針」における検討対象校の学校適正配置の推進 ○学校適正配置審議会の開催	○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から意見交換会等は開催できなかったが、関係保護者等へ船穂小学校及び本埜中学校の現状や今後の対応等についてまとめたお知らせの配付等を行った。 ○6回の審議会を開催し、第二次印西市学校適正規模・適正配置基本方針についての諮問に係る審議等を行った。
事業評価	A	

今後の施策の方向性	<p>令和4年度中に、学校適正配置審議会における第二次印西市学校適正規模・適正配置基本方針についての答申をいただけるよう、計画的に審議を進めていく必要があるため、引き続き、施策の目的を達成するため、事業を継続する。</p>
-----------	---

点検評価調書

1. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む[学校教育]

2 安全で安心できる教育環境づくり

(3) 学校安全の推進

事 業	事業内容 (令和3年度目標)	令和3年度実績
①安全教育の充実		
(7) 安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全教室の実施 (全公立幼稚園、全小中学校対象) ○防犯教室の実施 (全公立幼稚園、全小中学校対象) ○避難訓練の実施 (全公立幼稚園、全小中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症対策のため交通指導員の派遣がなかったが、教員による指導で全幼稚園・全小中学校で交通安全教室を実施した。 ○防犯教室を全幼稚園・全小中学校で実施した。 ○避難訓練を全幼稚園・全小中学校で実施した。
(4) 児童生徒・園児の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ○学校安全に関する計画やマニュアルの見直しと定期的な施設点検の実施に関する指導・助言 ○防犯ブザーの貸与 (小学新入生対象) ○自転車通学用ヘルメット貸与 (小中学新入生対象) ○メール配信システムの活用 (公立幼稚園・小中学校等) ○防災行政無線を活用しての見守り活動の推進 ○安全主任等研修会の開催 ○「こども110番の家」の推進 ○児童虐待に関する学校、関係課、関係機関等との連携 ○台風・雷雨・竜巻・熱中症・光化学スモッグ等に係る注意喚起及び安全指導の徹底 ○理科薬品の安全管理の指導・点検 	<ul style="list-style-type: none"> ○各校より提出された防災計画・学校安全マニュアルの内容の点検を行った。また、諸表簿点検の際に指導主事等による確認を行った。 ○防犯ブザーを小学校1年生及び転入生に貸与した。 ○自転車通学用ヘルメットを自転車通学の中学校1年生に貸与した。 ○防犯情報、活動予定等を保護者等にメール配信し、主に緊急を要する情報の提供を図った。 ○継続的に実施した。 ○安全主任等研修会を1回実施した。。 ○全小中学校で「こども110番の家」の設置を推進した。 ○児童虐待防止法により、確証がなくても虐待と疑われる場合は、関係機関に通告・相談した。 ○自然災害への対応について、事前に各校へ注意喚起を促すとともに、各校では児童生徒への指導を行った。 ○全小中学校の理科薬品管理簿を点検し、確認事項や改善が必要な点について指導・助言を行った。
(7) 通学路の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ○印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路安全点検の実施と関係課、関係機関との連携・対応 ○児童・保護者・教師等の点検による全小学校区の安全マップの作成及び関係機関への配付 	<ul style="list-style-type: none"> ○全小学校で通学路の点検を実施するとともに、関係各課・関係機関と連携し、通学路の改善を図った。 ○安全マップを小学校1年生及び転入生に配付し、学区内の危険個所に対する注意喚起を行った。
(エ) 学校管理下における災害共済給付	<ul style="list-style-type: none"> ○日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入の推奨 ○災害給付手続きに関する学校への情報提供及び指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○各校を通じて加入の推奨を行った。 ○手続きに関する手引きを各校に配付するとともに、研修会等で指導・助言を行った。
事業評価	A	

点検評価調書

1. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む[学校教育]
2. 安全で安心できる教育環境づくり

今後の施策の方向性	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、集合型・体験型の事業については、内容を変更したり、人数や時間を縮小したりしながら実施することで、学校安全を推進することができた。</p> <p>宅地開発が進む地域や道路事情が悪い地域もあり、通学路の安全対策をより充実させる必要があるため、引き続き各学校の点検や要望を踏まえながら、関係課や関係機関と連携し速やかな対応を図っていく。</p>
-----------	--

(4) 開かれた学校づくり

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
①学校情報公開と地域の連携	<ul style="list-style-type: none"> ○学校ホームページを活用した学校広報の充実 ○教育センターホームページを活用した各学校の取組の共有化 ○地域人材の活用（学校・家庭・地域の連携） ○学校評価による学校教育の改善 ○学校公開授業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○全小中学校がホームページを通して積極的に情報を発信し、全校で年間約1,000万件を超えるアクセスを得た。 ○教育センターホームページで各校の様子や取組を紹介し、情報共有の推進を図った。 ○読み聞かせや職業人の講話等で新型コロナウイルス感染症対策をしながら活用の工夫に努めた。 ○各校で学校評価を実施し、結果をホームページ上などで公開した。 ○新型コロナウイルス感染症対策のため、各校で分散型授業参観やオンライン授業参観等の工夫をし、授業公開の推進を図った。
事業評価	A	

今後の施策の方向性	<p>全ての小中学校で学校ホームページを日常的に更新し、学校の取組を発信することができている。今後もICT活用を推進し、各学校での取組の周知や行事の公開など、オンライン形式での発信を推進していく。また、学校評価の収集と結果分析の効率化を図っていく。</p>
-----------	--

点検評価調書

1. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む[学校教育]

2 安全で安心できる教育環境づくり

(5) 情報化社会に対応した教育の推進

事業	事業内容 (令和3年度目標)	令和3年度実績
①教育関係資料の収集・活用・教育広報	<ul style="list-style-type: none"> ○教育資料の収集・活用・提供 ○学校間グループウェアと文書管理システムを活用した教育関係資料・各種文書の電子化及び共有化 ○教育センターホームページによる教育広報推進 ○学校ホームページ及びメール配信システムの広報的機能強化 ○SNS等対応ネットリテラシー教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○各校の資料を教育センターで学校ごとに保管している。 ○教育委員会からの通達文書はグループウェアを利用して円滑に接受・校内回覧が行われるようにした。 ○教育センターホームページに各校の様子や取組を日々紹介し、年間59万件のアクセスを得た。 ○小中学校ホームページにて日常的に情報を発信しており、市内小中学校全体で年間約1,000万件を超えるアクセスを得た。 ○小中学校の要請に応じて、児童生徒・保護者を対象に、指導主事等によるSNSネットリテラシー出前授業を10回実施した。
事業評価	A	
②情報教育及びICT活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○1人一台端末を活用した指導及び情報共有の推進 ○教科指導用ICT関連環境整備の充実 ○校務システムの機能充実 ○校務システムを活用した学籍・成績・保健等の校務情報化推進 ○公簿や文書、教育情報の電子化の推進 ○各システムやサーバー・端末等の適正な運用管理 ○情報セキュリティポリシー遵守の徹底 ○教育CIOの配置、ヘルプデスク設置 ○教科等、情報教育、プログラミング教育におけるICT活用に関する研修の実施及び各学校への出前講座実施 ○学校図書館システムの活用推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○全小中学校に1週間に1回ICT支援員を派遣し、1人一台端末を活用した指導の推進に努めた。 ○1人一台端末の活用に関する情報提供と、教育センターによるワンストップでの修理・トラブル対応を行った。 ○システム導入業者との月に1回のミーティングを実施し、現場の要望のうち可能なものを機能に反映させた。 ○学籍・成績・保健情報を教育系サーバーにおいて一元管理し、安全かつ適切な情報管理に努めた。 ○教育委員会からの通達文書のほぼ全てをデジタル化して、各校へ発信した。グループウェアの機能を利用して、校内デジタル回覧を行った。 ○保守管理の委託業者が適宜対応し、トラブルの未然防止と早期対応を図った。 ○セキュリティポリシーを、市内教職員がだれでも閲覧できるようにし、市内小中学校へ周知を図った。 ○校務システムに関するヘルプデスクを常設し、市内教職員の操作上の質問について迅速に回答した。 ○ICT活用に関する校内研修に指導主事を派遣し、指導・助言を行った。また、個別の要請に対しても指導主事が対応し、授業での機器利用推進を図った。 ○図書システムの機能については学校司書に周知を図り活用推進に努めた。
事業評価	A	

今後の施策の方向性	<p>一人一台端末の導入から利用開始までが円滑に進めることができた。今後はこれらの端末を教材・教具、文具として日常的に利用することができるよう、市内小中学校への積極的な情報提供、市内教職員間の情報交流の場の設定、ICT支援員のより効果的な活用を図り、授業、校務の両面において情報化促進を図っていく。</p>
-----------	---

点検評価調書

Ⅱ. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

[生涯学習・生涯スポーツ]

1 年齢にとらわれずにいきいきと暮らすための生涯学習活動

(1) 生涯学習情報の充実

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
①生涯学習ガイドの発行	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習ガイドの発行 ○冊子内容を市ホームページでも提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○300部発行。講師、講座、団体、物品、施設情報の掲載を行った。各公民館・図書館・学校・コミュニティセンター・保健センター・老人福祉センター等の窓口への配布を行った。 ○市ホームページへの掲載を行った。年度途中で講師情報の追加があった場合は、市ホームページを更新して対応した。アクセス件数1,262件。
事業評価	A	

今後の施策の方向性	令和3年度より生涯学習ガイドの発行を4月としたことでより多くの活用がみられたので、引き続き行っていく。
-----------	---

点検評価調書

Ⅱ. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

[生涯学習・生涯スポーツ]

1 年齢にとらわれずにいきいきと暮らすための生涯学習活動

(2) 多様な学習機会の提供

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
①市民アカデミーの充実 【リーディング施策関連事業】	<ul style="list-style-type: none"> ○市民アカデミーの充実 ○市民アカデミープロジェクトチームによる学習計画の充実・運営 ○公民館・地域交流館などの事業での活用の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症の影響により、例年とプログラムを変更して事業を実施した。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、担当者会議は実施しなかったが、アカデミー生の自主勉強の支援を行うよう担当間で調整を行った。 ○自主勉強として公民館・地域交流館などの事業紹介をした。
事業評価	A	
②公民館・地域交流館主催事業の充実 【リーディング施策関連事業】	<ul style="list-style-type: none"> ○市民ニーズや社会的課題をとらえた事業の実施 ○子ども対象事業の充実 ○大人対象事業の充実 ○団体や行政等との共催事業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災講座 3講座（延べ45人） ○工作、学習講座等 21講座（延べ9,527人） ○趣味、教養、工芸等 28講座（延べ2,184人） ○工作教室、野外教室等 3講座（延べ127人）
事業評価	B	
③図書館サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○図書・視聴覚資料などの貸出 ○レファレンスサービス事業・資料の充実 ○電子書籍の導入など非来館型サービスの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○市立図書館6館において、延べ246,770人の利用者に対し、839,613点の図書館資料貸出を行った。 ○市立図書館6館において、窓口・電話でのレファレンスを17,970件受付した。年間を通して事業を実施した。購入・寄贈により資料を13,626受け入れ、資料を充実させた。 ○令和3年7月より電子書籍サービスを開始し、350点の資料を提供した。
事業評価	A	

点検評価調書

Ⅱ. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

[生涯学習・生涯スポーツ]

1 年齢にとらわれずにいきいきと暮らすための生涯学習活動

(2) 多様な学習機会の提供

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
④生涯学習まちづくり出前講座の充実 【リーディング施策関連事業】	○市民の学習機会を増やし、市民参画のきっかけとなる生涯学習まちづくり出前講座の充実	○市ホームページや広報にて出前講座の周知に努めた。23件419人が受講した。
事業評価	B	

今後の施策の方向性	新型コロナウイルス感染症の影響により、主催事業については内容の見直し等を行って実施したが、一部の事業は中止となった。今後についても、事業内容を精査し、市民ニーズや社会的課題をとらえた事業の実施を計画し、受講者の満足度の高いものになるように取り組む。
-----------	--

点検評価調書

Ⅱ. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

[生涯学習・生涯スポーツ]

1 年齢にとらわれずにいきいきと暮らすための生涯学習活動

(3) 生涯学習環境の整備・充実

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
①生涯学習環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館・地域交流館や図書館の適正な維持・改修 ○生涯学習機能の充実 ○社会教育主事などの配置 ○ふれあい文化館大規模改修工事 ○本荘公民館館保全改修工事設計業務委託 	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館・地域交流館設備等の修繕を行い、施設の適正な維持に努めた。 ○各公民館・交流館でそれぞれの地域の特徴を生かした主催事業を展開した。 ○生涯学習課に1名配置し、施策・事業の推進に努めた。 ○ふれあい文化館大規模改修工事を行った。 ○保全改修工事に係る基本設計及び実施設計を行った。
事業評価	A	

今後の施策の方向性	<p>生涯学習施設の大規模改修工事等の実施や各施設で主催事業を実施したことにより、目標を概ね達成することができた。 今後についても引き続き施設の維持管理や修繕、主催事業を実施していく。</p>
-----------	--

点検評価調書

Ⅱ. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

[生涯学習・生涯スポーツ]

1 年齢にとらわれずにいきいきと暮らすための生涯学習活動

(4) 高等教育機関等の連携・協力

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
①産学官民の連携・協力	<ul style="list-style-type: none"> ○大学などの高等教育機関や企業などとの連携協力 ○市民・市民団体との連携・協力 	<ul style="list-style-type: none"> ○順天堂大学公開講座（順天堂大学・印西市・酒々井町共催）をオンライン2回，対面2回 計4回 親子15組が参加した。 ○市民アカデミーの講師として，NPO法人を含む市民団体を活用する予定だったが，新型コロナウイルス感染症の影響により実施しなかった。
事業評価	A	
②社会教育関係団体の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育関係団体の支援 ○ボランティアの育成や地域で活動する個人・団体のネットワーク化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○補助金による活動支援，事業後援等により活動を側面から支援した。（後援：7事業） ○市民アカデミーにおいて，受講生が市民活動団体に加入したり，自ら団体を組織できるようなプログラムを実施する予定だったが，新型コロナウイルス感染症の影響により，中止とした。
事業評価	—	

評価の理由及び今後の方向性	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業を内容を変更して実施した。今後もコロナ禍にあわせた事業について検討し，継続して実施する。</p>
---------------	---

点検評価調書

Ⅱ. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

[生涯学習・生涯スポーツ]

2 地域で子どもたちを守り育てる環境づくり

(1) 青少年の健全育成活動の推進

事業	事業内容 (令和3年度目標)	令和3年度実績
①「こども110番の家」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○こども110番運営委員会などの支援 ○こども110番ステッカー・看板の提供 ○こども110番の家災害補償保険の加入 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども110番運営委員会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止としたが、事業の周知を図るため、担当者への説明を行った。また市ホームページや広報いんざいにこども110番について掲載した。 ○新規の協力申し込みや破損等による交換などの対応を行った。協力家庭及び事業所数の調査を実施した。(1,447件) ○協力家庭及び事業所等の不測の事態に備え、保険に加入した。
事業評価	B	
②青少年健全育成大会の実施	○親子で参加し、考える機会となる青少年健全育成大会の実施	○「社会を明るくする運動」とともに開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。
事業評価	-	
③地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の充実 【リーディング施策関連事業】	○中学校区ごとに学校や地域で活動する団体が協力し、コミュニティづくりと生活環境の整備を図る地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の支援	○6学校区(船穂中, 木刈中, 小林中, 西の原中, 滝野中, 本埜中)で事業に取り組んだ。一部事業は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となったが、安全パトロール, 声かけ運動, 講演会等の事業を地域の団体が連携協力し学校とともに活動した。
事業評価	-	
④放課後子ども教室の実施 【リーディング施策関連事業】	○放課後子ども教室の実施・支援	○滝野小学校42名・7回、本埜小学校20名・6回で教室を実施した。
事業評価	-	
⑤成人記念式典の実施	○新成人運営スタッフの企画・運営による成人記念式典の実施	○35名の運営スタッフにより2回の会議を行い、企画・準備にあたった。新型コロナウイルス感染症の影響により、2部制としたが、計681名の参加があった。
事業評価	A	

点検評価調書

Ⅱ. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

[生涯学習・生涯スポーツ]

2 地域で子どもたちを守り育てる環境づくり

(1) 青少年の健全育成活動の推進

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
⑥子ども読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館での読み聞かせ等の実施 ○学校での読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○通年で行うおはなし会に350名（全館），夏のおはなし会に14名（印旛），クリスマス会に121名（大森，小林，小倉台，本埜）の参加者があった。 ○ホームページなどを活用した広報・啓発を行った。
事業評価	A	

今後の施策の方向性	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により，一部事業を中止する場合もあったがその一方で感染症対策を講じた上で実施できた事業もあった。今後についても感染症対策を行ったうえでの開催方法を検討し，事業の実施にあたっていく。</p>
-----------	--

点検評価調書

Ⅱ. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する

[生涯学習・生涯スポーツ]

2 地域で子どもたちを守り育てる環境づくり

(2) 家庭教育の推進

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
①家庭教育学級の充実 【リーディング施策関連事業】	<ul style="list-style-type: none"> ○各公立幼稚園・小中学校での家庭教育学級開設 ○家庭教育学級主事会議の開催 ○家庭教育学級運営委員研修会の開催 ○家庭教育指導員の配置 	<ul style="list-style-type: none"> ○必修29学級，学年4学級，計33学級開設。参加延べ人数1,032人の方が学級生として学んだ。 ○幼稚園・小中学校教頭に，家庭教育主事を委嘱，指導・助言にあたってもらった。4月と3月に1回ずつ主事会議を開催した。 ○各学級代表者を対象に4月と3月に研修会を実施した。 ○家庭教育学級指導員を1名配置し，指導・助言にあたった。
事業評価	—	

今後の施策の方向性	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により，講座に参加する保護者が減少した。一方でオンライン開催や家庭教育に関するおたよりの配布など，コロナ禍であっても継続できるような体制で事業を行うことができた。引き続き，家庭教育学級を各学校で行い，家庭教育の教育力の向上を目指していく。</p>
-----------	---

点検評価調書

Ⅲ. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る[文化芸術]

1 創造性を育む文化・芸術活動の推進・継承

(1) 文化芸術に触れる機会の拡大

事業	事業内容 (令和3年度目標)	令和3年度実績
①文化・芸術事業の充実 【リーディング施策関連事業】	○文化ホール主催事業等の実施	○鑑賞型事業を6事業実施したうち、有料事業(4事業)のチケット売上枚数は1,304枚であった。無料事業(2事業)の参加者は742名であった。
事業評価	A	

今後の施策の方向性	文化・芸術の発信拠点である文化ホールの役割を果たすべく、事業の継続を行っていく。
-----------	--

点検評価調書

Ⅲ. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る[文化芸術]

1 創造性を育む文化・芸術活動の推進・継承

(2) 市民の自主的な活動の支援

事業	事業内容 (令和3年度目標)	令和3年度実績
①文化芸術活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○市民文化祭の実施 ○芸術文化団体活動への支援 ○芸術文化情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○一部中止はあったものの、市民文化祭及びオンライン文化祭を実施した。参加者及び来場者数は3,652人、出展数はオンラインを含めて308点であった。 ○事業の共催や後援により、団体活動の支援を行った。 ○公民館・文化ホール等の窓口へのポスター・チラシ等の配布、市ホームページへの掲載、関係団体への資料提供を行った。
事業評価	A	
②地域文化活動の支援 【リーディング施策関連事業】	○市民の地域文化活動への支援	○協働事業として、木下まち育て塾による木下地区歴史講座事業、小林住みよいまちづくり会と道作古墳群歴史広場活用事業を実施した。
事業評価	A	

今後の施策の方向性	<p>コロナ禍で一部中止はあったものの、市民文化祭及びオンライン文化祭を開催し市民の文化活動を支援することができ、今後とも継続していく。</p> <p>また、地域で活動する文化団体の支援については、引き続き協働事業を実施し、ふるさと意識の醸成に努める。</p>
-----------	--

点検評価調書

Ⅲ. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る[文化芸術]

1 創造性を育む文化・芸術活動の推進・継承

(3) 子どもをはじめとする次世代の育成

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
①子どもたちの文化芸術活動の充実	○文化芸術活動体験の実施	○文化祭において文化芸術体験の機会を設けるため体験会の公募を行い、篆刻や貝合わせなどを行った。
事業評価	B	
②芸術文化活動を支える人材育成の推進	○芸術文化協会と連携し、地域の文化芸術活動を支える人材育成を支援する。	○印西市芸術文化協会と連携し、各加盟団体の公益的で自主的な活動の支援を行った。
事業評価	A	

今後の施策の方向性	<p>新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら事業を実施していく。 今後とも、自主的な文化・芸術活動を積極的に支援していくとともに、子どもたちの様々な文化芸術体験の場を提供していく。</p>
-----------	---

点検評価調書

Ⅲ. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る[文化芸術]

2 文化財の保護・活用

(1) 文化財の保護

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
①指定文化財保護事業	<ul style="list-style-type: none"> ○有形文化財、史跡及び天然記念物の保存 ○無形民俗文化財の継承支援 ○文化財の普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財所有者に対し、文化財保存管理経費に伴う補助金の交付を行った。また、市指定史跡の環境保全に努めた。補助金交付8団体760,000円 ○指定無形民俗文化財の保存・継承活動に対し補助金を交付した。補助金交付2団体309,000円 ○地域における文化財愛護思想の普及と防災意識の向上のため、文化財防災訓練を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症防止により中止となったため、パンフレット等を配布するなど啓発に努めた。
事業評価	A	
②文化財基礎調査事業	○仏像調査・石造物調査の実施、調査報告書刊行準備	○本埜地区石造物調査報告書の令和4年度刊行に向け、報告書原稿の執筆を行った。
事業評価	A	
③埋蔵文化財の保護事業	<ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財の取扱い事務及び埋蔵文化財包蔵地の保護 ○道作古墳群活用事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○開発行為等に伴う発掘調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の保護に努めた。 ○NPO法人小林住みよいまちづくり会と協働し春と秋の2回道作古墳群見学会を実施した。
事業評価	A	

今後の施策の方向性	市内に点在する有形及び無形文化財等の適正保存・継承については、引き続き取り組んでいく。
-----------	---

点検評価調書

Ⅲ. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る[文化芸術]

2 文化財の保護・活用

(2) 文化財の活用

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
①文化財の活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ○有形文化財，史跡及び天然記念物の活用 ○無形民俗文化財の公開 ○埋蔵文化財の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○民具の収集・公開事業を実施した。 ○指定無形民俗文化財の公開については、新型コロナウイルス感染症防止のため、全て非公開又は中止となったが、無形民俗文化財のパンフレット作成や、伝統芸能フェスティバルのダイジェスト動画を作成し、公開した。 ○道作古墳群において、NPO法人小林住みよいまちづくり会と協働で古墳見学会を実施した。
事業評価	B	
②印旛歴史民俗資料館運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ○市域の考古，歴史，民俗等の資料の収集・保管・調査・研究及び成果の公表 ○常設展示及び企画展示の実施 ○講座及び体験型事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の寄贈6件 令和2年度受け入れ資料等について燻蒸を実施し、温湿度の計測等を通じて資料の保管環境の維持に努めた。 収蔵資料の整理を実施した。 埴輪資料の調査を実施し、研究紀要第4号を刊行した。 ○常設展示 主に印旛地区の民俗、考古、歴史資料を展示し、市内無形民俗文化財映像記録の視聴を実施した。 開館日数290日、来館者数842人 ○資料館講座「獅子舞点描一印西地域とその周辺一」を開催し、17人が参加した。 ○体験講座「埴輪（はにわ）をつくろう」、「勾玉づくり」、「正月飾りづくり」を開催し、計57人が参加した。
事業評価	A	
③郷土資料の収集・保存・展示	○分散化した歴史的資料の集約化の検討	○印旛歴史民俗資料館の木下交流の杜歴史資料センターへの集約化に向けて、市で保管する歴史的資料の保管場所、種別、数量などの確認を実施した。
事業評価	A	

点検評価調書

Ⅲ. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る[文化芸術]

2 文化財の保護・活用

(2) 文化財の活用

事業	事業内容 (令和3年度目標)	令和3年度実績
④観光事業等の連携による文化財の活用	○地域の文化財への理解の推進	○全国埋蔵文化財法人連絡協議会関東ブロック協議会連携事業「関東考古学フェア2021」に参加し、発掘調査の成果や文化財の意義を周知した。
事業評価	A	

今後の施策の方向性	文化財の収集及び活用については、工夫をしながら引き続き取り組んでいく。 印旛歴史民俗資料館の施設の老朽化による展示施設の検討や歴史資料の集約化による展示内容の充実のため、新たな歴史文化施設を含めて検討し、令和5年度末までに「(仮称)印西市歴史文化施設基本計画」を策定する。
-----------	---

点検評価調書

Ⅲ. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る[文化芸術]

3 市史編さん事業の推進

(1) 市史編さん事業の推進

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
①市史編さん事業	<ul style="list-style-type: none"> ○市史刊行に向けた資料収集・調査等の実施 ○市史講座等の実施 ○市史の刊行 ○市史刊行物の頒布 	<ul style="list-style-type: none"> ○編集会議2回 中世部会4回 近世部会3回 近現代部会50回 文書筆耕29点 通史編4近現代の原稿執筆 ○市史編さん講座の開催3回（参加者：35人） ○『印西の歴史』第13号を刊行した ○202冊
事業評価	A	

今後の施策の方向性	事業実施体制の充実を図り、引き続き市史刊行計画に沿って、施策の目標を達成するため事業を継続する。
-----------	--

(2) 地域史料の保存と活用

事業	事業内容（令和3年度目標）	令和3年度実績
①地域史料の保存及び活用	<ul style="list-style-type: none"> ○木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営 ○古文書等の調査及び収集 ○古文書等の整理及び保存活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○開館日数290日、来所者数2,833人 ○展示事業 常設展示（年間） ○市内所在古文書の収集1件（多々羅田） ○保管している古文書等の整理を実施した
事業評価	A	
②歴史公文書の収集、整理保管	○歴史公文書の引継、整理保管	○移管文書140箱 令和3年度引継件数2,466件 保管総数44,712点
事業評価	A	

今後の施策の方向性	事業を継続するとともに、資料の整理を進め、活用を図る。
-----------	-----------------------------

リーディング施策1 循環型生涯学習のための基盤づくり

《令和3年度 主な取り組み》

*子どもの「総合型プログラム」を将来的には市全体のプロジェクトとして、乳幼児から高齢者までのプログラムとして作成し、市民の健やかな心と体を育む学びを推進することを検討します。

担当課・係	生涯学習課 推進係
-------	-----------

方向性	・市民の生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術の学習や活動の成果を人づくり・地域づくりに活かす仕組みを構築する。
-----	---

基本目標の取組概要	・市民アカデミーや出前講座を通じて、生涯学習ボランティアなどの人材育成に努める。
令和3年度の実施内容	・市民アカデミーについては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部プログラムを変更して実施した。 ・生涯学習ガイドを発行するとともに、市ホームページに掲載した。講師、指導者、講座情報の募集を広報、ホームページに掲載及び公民館にて配付を行い、掲載情報の充実に努めた。

●教育振興基本計画上の数値目標

指標名	現況値 (平成28年度)	目標値 (令和3年度)	実績 (令和3年度)	説明
市民アカデミー参加人数(人)	55	60	46	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集人数を例年の半分とした。
生涯学習ガイドの掲載数	392	350	347	新型コロナウイルス感染症の影響により、掲載数が減少した。
出前講座利用回数(回)	83		23	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用数が減少した。
出前講座利用者人数(人)	1764		419	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少した。

●目標の達成度

<p>●市民アカデミーは新型コロナウイルス感染症の影響により募集人数を例年の半分とし、プログラムを変更して事業を行った。引き続き、感染状況に応じた事業を展開していく。</p> <p>●広報や市ホームページなどで生涯学習ガイドに掲載する情報の募集を行い、情報の充実を図った。引き続き掲載内容の充実に努めつつ事業を継続する。</p> <p>●出前講座は新型コロナウイルス感染症の影響により利用数が減少した。今後についても引き続き周知を行い、利用の拡充に努めたい。</p>

リーディング施策1 循環型生涯学習のための基盤づくり

《令和3年度 主な取り組み》

*子どもの「総合型プログラム」を将来的には市全体のプロジェクトとして、乳幼児から高齢者までのプログラムとして作成し、市民の健やかな心と体を育む学びを推進することを検討します。

担当課・係	生涯学習課
方向性	・市民の生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術の学習や活動の成果を人づくり・地域づくりに活かす仕組みを構築する。
基本目標の取組概要	・地域の生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術の活動や人材の情報共有や交流を進める。
令和3年度の実施内容	・木下まち育て塾と協働で、木下地区歴史講座を実施した。 ・小林住みよいまちづくり会と協働で、道作古墳群歴史広場の維持管理や古墳見学会を実施した。

●教育振興基本計画上の数値目標

指標名	現況値 (平成28年度)	目標値 (令和3年度)	実績 (令和3年度)	説明
木下地区歴史講座 参加人数(人)			42	第1回10/10:16人、第2回3/13:26人
古墳見学会 参加人数(人)			145	春4/3:80人、秋11/20:65人

●目標の達成度

●コロナ禍のため木下地区歴史講座は実施回数を減らしたが、各回は多数の参加があった。また、道作古墳見学会は予定通り実施でき、多数の参加があり好評であった。このように市民の学習を深めることができた。

リーディング施策1 循環型生涯学習のための基盤づくり

《令和3年度 主な取り組み》

*子どもの「総合型プログラム」を将来的には市全体のプロジェクトとして、乳幼児から高齢者までのプログラムとして作成し、市民の健やかな心と体を育む学びを推進することを検討します。

担当課・係	生涯学習課
方向性	・市民の生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術の学習や活動の成果を人づくり・地域づくりに活かす仕組みを構築する。
基本目標の取組概要	・地域の生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術の活動や人材の情報共有や交流を進める。
令和3年度の実施内容	・新型コロナウイルス感染症の影響により、主催事業の一部について、中止または内容の見直し等を行っての実施となった。 ・公民館及び中央駅前地域交流館で合計52事業を実施した。

●教育振興基本計画上の数値目標

指標名	現況値 (平成28年度)	目標値 (令和3年度)	実績 (令和3年度)	説明
講座等への参加者数 (年間延べ)	30,853人	31,000人	11,838人	新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止や実施回数の減により減少した。
公民館及び中央駅前地域交流館定期利用団体数	225団体	230団体	136団体	新規に活動する団体もあったが、構成員の高齢化や新型コロナウイルス感染症の影響により活動を取りやめる団体もあった。
公民館及び中央駅前地域交流館の年間利用者数	234,293人	235,000人	111,626人	新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止や利用者の利用自粛などにより減少した。

●目標の達成度

●新型コロナウイルス感染症の影響により、主催事業については内容の見直し等を行っての実施または一部事業を中止とし、貸館等については利用定員の削減、利用者の利用自粛等のため、目標値を下回る結果となった。
●今後も事業内容を精査し、市民ニーズや社会的課題をとらえた事業や地域の特色を生かした事業の実施を計画していく。

リーディング施策1 循環型生涯学習のための基盤づくり

《令和3年度 主な取り組み》

*子どもの「総合型プログラム」を将来的には市全体のプロジェクトとして、乳幼児から高齢者までのプログラムとして作成し、市民の健やかな心と体を育む学びを推進することを検討します。

担当課・係	生涯学習課 推進係
-------	-----------

方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育において必要な活動を学校と地域・家庭が連携・協力する仕組みを構築する。 ・本市独自の生涯学習社会の構築のために、学校との連携を強化し、人づくり・地域づくりを推進する。
-----	---

基本目標の取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・さわやかコミュニティ地域推進会議などを活用し、学校との連携を推進する。 ・放課後子ども教室
令和3年度の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業としては、バザー等の一部事業は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、感染症対策を講じたうえで、安全パトロールや声かけ運動などを地域・学校が連携協力し実施した。 ・放課後子ども教室は放課後等に外遊び、工作、季節行事及び高校生との交流等を行った。

●教育振興基本計画上の数値目標

指標名	現況値 (平成28年度)	目標値 (令和3年度)	実績 (令和3年度)	説明
地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業実施中学校区数			6	安全パトロール、声かけ運動等の事業を地域の団体が連携協力し学校とともに活動した。
放課後子ども教室参加児童数	70	90	62	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、例年より募集人数を絞るなどし、実施した。

●目標の達成度

<ul style="list-style-type: none"> ●地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、中学校区全体での事業が困難な状況であった。 ●放課後子ども教室においては、感染症対策のため、募集人数を減らしたこともあり、参加児童数が減少した。
--

リーディング施策2 市民のだれもがいきいき暮らすための「知・徳・体の総合型教育」の推進

《令和3年度 主な取り組み》

*子どもの「総合型プログラム」を将来的には市全体のプロジェクトとして、乳幼児から高齢者までのプログラムとして作成し、市民の健やかな心と体を育む学びを推進することを検討します。

担当課・係	生涯学習課 推進係
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが、生活の質の向上と健やかな心と体を育む学びを推進する。 ・「知」「徳」「体」の学習を充実させるため、学校教育と連携しながら、生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術の各分野のライフステージに合わせた学びを充実させる。
基本目標の取組概要	・学校教育や生涯学習と連携しながら「知」「徳」のライフステージに合わせた学びを充実させる。
令和3年度の実施内容	必修29学級、学年4学級、計33学級を開設し、各幼稚園・各学校において講座を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により、一部講座が中止となったが、一方でコロナ禍でも開催できる方法としてオンライン上で講座を行うなど工夫して実施した学級もあった。

●教育振興基本計画上の数値目標

指標名	現況値 (平成28年度)	目標値 (令和3年度)	実績 (令和3年度)	説明
家庭教育学級参加者数(人)	3692	3800	1032	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者が減少した。

●目標の達成度

<p>●新型コロナウイルス感染症の影響により、講座に参加する保護者が減少した。一方でオンライン開催や家庭教育に関するおたよりの配布など、コロナ禍であっても継続できるような体制で事業を行うことができた。引き続き、家庭教育学級を各学校で行い、家庭教育の教育力の向上を目指していく。</p>
--

リーディング施策2 市民のだれもがいきいき暮らすための「知・徳・体の総合型教育」の推進

《令和3年度 主な取り組み》

*子どもの「総合型プログラム」を将来的には市全体のプロジェクトとして、乳幼児から高齢者までのプログラムとして作成し、市民の健やかな心と体を育む学びを推進することを検討します。

担当課・係	生涯学習課 文化係
-------	-----------

方向性	・市民一人ひとりが、生活の質の向上と健やかな心と体を育む学びを推進する。
-----	--------------------------------------

基本目標の取組概要	・地域に根ざした文化芸術活動を充実させる。
令和3年度の実施内容	・コロナ禍により、一部中止したのもあったものの、市民文化祭及びオンライン文化祭を開催し、子どもたちの芸術作品・芸術活動の発表を行った。 しかし、体験コーナーでの体験の機会が減ってしまい、参加人数がかなり減少した。

●教育振興基本計画上の数値目標

指標名	現況値 (平成28年度)	目標値 (令和3年度)	実績 (令和3年度)	説明
市民文化祭体験会参加者	595	1200	25	コロナ禍であり、体験会も篆刻と貝合わせのみとなり参加者数が減少した。

●目標の達成度

●市民文化祭の中では、子どもたちの作品展示や発表などもあったが、コロナ禍で市民文化祭での体験の機会が少なくなり、参加者がかなり減少した。
--

リーディング施策2 市民のだれもがいきいき暮らすための「知・徳・体の総合型教育」の推進

《令和3年度 主な取り組み》

*子どもの「総合型プログラム」を将来的には市全体のプロジェクトとして、乳幼児から高齢者までのプログラムとして作成し、市民の健やかな心と体を育む学びを推進することを検討します。

担当課・係	指導課
-------	-----

方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが、生活の質の向上と健やかな心と体を育む学びを推進する。 ・「知」「徳」「体」の学習を充実させるため、学校教育と連携しながら、生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術の各分野のライフステージに合わせた学びを充実させる。
-----	--

基本目標の取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の頃から文化芸術に親しむ機会を増やす。
令和3年度の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1000か所ミニ集会は、新型コロナウイルス感染防止のため縮小や中止した学校もあるが、各学校ができる範囲で実施し家庭や地域の連携・協力を努めた。 ・小学校5年生、中学校代表生徒及び音楽系部活動を対象に、日頃の音楽活動の成果を発表する場としてさわやかハートフルコンサートを開催した。新型コロナウイルス感染防止のため無観客開催としたが、延べ3日間でおおよそ2,000名の児童生徒が参加した。 ・小学校6年生を対象に、狂言や落語などの古典芸能に触れる鑑賞教室を開催した。1,131名の児童が伝統芸能についての理解に努め、それらを尊重する態度の育成を図ることができた。

●教育振興基本計画上の数値目標

指標名	現況値 (平成28年度)	目標値 (令和3年度)	実績 (令和3年度)	説明
1000ヵ所ミニ集会の開催	全小中学校		8回(20小中学校)	新型コロナウイルス感染防止のため縮小開催や中止
さわやかハートフルコンサートの開催	3日間5公演		3日間5公演	新型コロナウイルス感染防止のため無観客開催
小学校芸術鑑賞教室の開催	1日間2公演		3日間5公演	新型コロナウイルス感染防止のため、会場の集客率を50%以下にしての開催

●目標の達成度

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止のため開催方法を変更したり中止したりしたが、令和2年度より実績を上げることができ、文化芸術に親しむ機会を増やすことができた。
--

リーディング施策2 市民のだれもがいきいき暮らすための「知・徳・体の総合型教育」の推進

《令和3年度 主な取り組み》

*子どもの「総合型プログラム」を将来的には市全体のプロジェクトとして、乳幼児から高齢者までのプログラムとして作成し、市民の健やかな心と体を育む学びを推進することを検討します。

担当課・係	指導課
-------	-----

方向性	・「知」「徳」「体」の学習を充実させるため、学校教育と連携しながら、生涯学習、生涯スポーツ、文化芸術の各分野のライフステージに合わせた学びを充実させる。
-----	--

基本目標の取組概要	・2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を通じて、子供から高齢者まですべての市民のスポーツや健康に対する関心を高める。
令和3年度の実施内容	・順天堂大学と連携し、オリンピック・パラリンピックについての講演や競技の体験活動を通して、市内小中学校におけるオリンピック・パラリンピック教育を推進した。

●教育振興基本計画上の数値目標

指標名	現況値 (平成28年度)	目標値 (令和3年度)	実績 (令和3年度)	説明
オリ・パラ教室の開催	0校		14校	シティプロモーション課との連携

●目標の達成度

●新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、主にパラスポーツ体験、パラスポーツ選手による講演会を多くの学校で実施することができた。達成度については、目標値の設定がないため判断しかねるが、令和2年度の実績（9校開催）を上回っている。
--

4 評価のまとめ

(1) 評価内訳

基本目標における主な取り組み毎の評価内訳は、以下のとおり。

※ 評価基準

- S…事業の目標が達成され、計画以上の効果が認められる。
- A…事業の目標が概ね達成され、効果が認められる。
- B…目標が一部達成できなかった。
- C…目標が未達成の事業であり、効果がほとんど認められない。
- …新型コロナウイルス感染症対策等のため、事業が実施できず、評価できなかった。

各事業の事業内容（令和3年度目標）に対し、進捗、達成度を総合的に判断し、S～Cの4段階の基準において自己評価しました。なお、新型コロナウイルス感染症対策等のため実施できず、評価できなかった事業は、—としました。

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む〔学校教育〕

1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進

(1) 学ぶ力を育む教育の充実	
①個性や能力を伸ばす教育の推進	A
②確かな学力を育むための研修の充実	A
③教育課題への指導・支援の充実	A
④幼児教育の充実	A
⑤読書活動の推進	A
⑥国際理解教育の推進	B
⑦特別支援教育の推進	A
⑧キャリア教育の推進	B
(2) 豊かな心を育む教育の充実	
①情報教育の充実	A
②体験活動の充実	B
③郷土愛を育む教育の推進	A
④きめ細やかな教育支援の推進	A
(3) 健やかな体を育む教育の充実	
①学校体育の充実	A
②学校保健衛生の充実	B
(4) 学校給食の充実	
①学校給食の充実	A

2 安全で安心できる教育環境づくり

(1) 教育環境整備の充実	
①学校・幼稚園施設及び就学援助の充実	A
(2) 学校の適正規模・適正配置の推進	
①学校の適正規模・適正配置の推進	A
(3) 学校安全の推進	
①安全教育の充実	A
(4) 開かれた学校づくり	
①学校情報公開と地域の連携	A
(5) 情報化社会に対応した教育の推進	
①教育関係資料の収集・活用・教育広報	A
②情報教育及びICT活用の推進	A

II. 生涯を通して学びスポーツに親しめる環境づくりを推進する [生涯学習・生涯スポーツ]

1 年齢にとらわれずにいきいきと暮らすための生涯学習活動

(1) 生涯学習情報の充実	
①生涯学習ガイドの発行	A
(2) 多様な学習機会の提供	
①市民アカデミーの充実	A
②公民館・地域交流館主催事業の充実	B
③図書館サービスの充実	A
④生涯学習まちづくり出前講座の充実	B
(3) 生涯学習環境の整備・充実	
①生涯学習環境の整備・充実	A
(4) 高等教育機関等の連携・協力	
①産学官民の連携・協力	A
②社会教育関係団体の支援	—

2 地域で子どもたちを守り育てる環境づくり

(1) 青少年の健全育成活動の推進	
①「こども 110 番の家」の推進	B
②青少年健全育成大会の実施	—
③地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の充実	—
④放課後子ども教室の実施	—
⑤成人記念式典の実施	A
⑥子ども読書活動の推進	A
(2) 家庭教育の推進	
①家庭教育学級の充実	—

Ⅲ. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る〔文化芸術〕

1 創造性を育む文化芸術活動の推進・継承

(1) 文化芸術に触れる機会の拡大	
①文化・芸術事業の充実	A
(2) 市民の自主的な活動の支援	
①文化芸術活動の支援	A
②地域文化活動の支援	A
(3) 子どもをはじめとする次世代の育成	
①子どもたちの文化芸術活動の充実	B
②芸術文化活動を支える人材育成の推進	A

2 文化財の保護・活用

(1) 文化財の保護	
①指定文化財保護事業	A
②文化財基礎調査事業	A
③埋蔵文化財の保護事業	A
(2) 文化財の活用	
①文化財の活用事業	B
②印旛歴史民俗資料館運営事業	A
③郷土資料の収集・保存・展示	A
④観光事業等の連携による文化財の活用	A

3 市史編さん事業の推進

(1) 市史編さん事業の推進	
①市史編さん事業	A
(2) 地域資料の保存と活用	
①地域資料の保存及び活用	A
②歴史公文書の収集、整理保管	A

(2) 施策別評価

施策別の主な事業の評価数は以下のとおり

番号	基本目標	主 な 施策数	主 な 取り組 み数	事業数	事業の評価数				
					S	A	B	C	—
I	生きる力を持ち未来を拓く 子どもを育む 〔学校教育〕	2	9	21	0	17	4	0	0
II	生涯を通して学びスポーツ に親しめる環境づくりを推 進する 〔生涯学習・生涯スポーツ〕	2	6	15	0	7	3	0	5
III	心に豊かさをもたらす文化 の保護と振興を図る 〔文化芸術〕	3	7	15	0	13	2	0	0
計		7	22	51	0	37	9	0	5

(3) 学識経験者の知見の活用

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項には、事務事業の点検及び評価を実施するに当たっては、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図ることが定められております。

このため、印西市教育委員会では事務事業が適切に実施されているか、点検評価委員2名から書面で意見をいただいております。

※敬称略

分 野	氏 名	役 職
学 校 教 育 分 野	井 上 愛一郎	聖徳大学教授
生 涯 学 習 分 野	後 藤 譲	元社会教育主事 元小学校長

《学校教育分野》 評価者：井上愛一郎委員

令和3年度学校教育分野に係る点検評価については、どの項目も「実績」「事業評価」「今後の施策の方向性」が的確に記載されているとともに、多くの項目で事業評価「A」と優れた成果を上げています。同時に、令和2年度は新型コロナウイルス感染症により未実施・縮小した事業が、令和3年度は感染症予防対策を行いながら、工夫して事業を実施していることが評価できると思います。

なお、実績については、数値化できるものは数値化することにより、年度比較が容易となり評価がより明確になるものと考えます。

I. 生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む〔学校教育〕

1 学ぶ力、豊かな心、健やかな体を育む教育の推進

(1) 学ぶ力を育む教育の充実

- ① 印西市の特色ある取組である「漢字級別認定テスト」や「計算力確認テスト」については、それぞれのべ12,000名を超える児童生徒が受験しています。国語・算数の基礎学力の定着や学習意欲の向上との相関関係を明らかにすることにより、さらに受験する児童生徒が増えることを期待します。
- ② 教職員を対象とした研修は、教職員の資質や指導力を高め、「分かる授業」を展開するための必須の事業です。学校教育の中心である「授業」に、一人一人の子ども達が目を輝かせて取り組むとともに、学ぶ力や学力を高めることができるよう、教職員の授業力の向上にさらに努めてほしいと思います。
- ③ 教育課題の調査・研究・開発については、全国学力・学習状況調査と千葉県標準学力検査の結果分析を行い、指導法の改善に努めています。児童生徒一人一人の学力をさらに高めることができるよう、学校への支援を引き続きお願いしたいと思います。
- ④ 幼児教育の充実については、新型コロナウイルス感染症対策により、小中学校との交流や地域懇談会等が中止になったことが残念でした。特に、「小1プロブレム」の解決を図るため、交流活動や連携による幼小の円滑な接続を工夫してほしいと思います。
- ⑤ 読書活動の推進のため、学校司書13名を小中学校に配置するとともに、図書館司書研修会や学校司書連絡会を定期的に開催しています。このような取組により、子ども達の読書量がどの程度増えたのか、検証が必要かと思います。
- ⑥ ALTや英語教育コーディネーターの配置、小学校外国語活動・英語科の授業やイングリッシュアカデミーの実施等を通して、国際理解教育の推進に努めています。具体的な成果指標として、たとえば英語検定の受験者数や級別取得者数の推移を見ていくことも必要なのではないのでしょうか。
- ⑦ 特別支援教育体制の充実に向けて、学習指導員や介助員の配置は極めて重要であると考えます。児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応し、その自立を支援するために、今後もきめ細かな配置をお願いします。
- ⑧ キャリア教育については、コロナ感染症対策により体験的な活動が中止となりましたが、職業人を招いた講話会を実施するなど、取組に工夫が見られました。「学齢期はキャリア形成に重要な時期」という認識の下、今後も工夫した取組を期待します。

(2) 豊かな心を育む教育の充実

- ① 子ども達の豊かな心を育むため、道徳（人権）教育や体験的な活動の実施、環境や体制の整備等、様々な取組が展開されています。この中心である道徳教育（授業）がさらに充実し、子ども達が道徳的実践力を身につけることができるよう、教材の開発や社会人の活用等、学校への支援を引き続きお願いしたいと思います。
- ② 不登校やいじめなどの悩みを抱える児童生徒の居場所として、適応指導教室の存在は大きいものがあります。今後も学校との連携を密にして、必要な児童生徒に支援の手が行き届くようお願いしたいと思います。

(3) 健やかな体を育む教育の充実

- ① 学校体育の充実に向けて、様々な事業が展開されています。今後もこれらの事業が子ども達一人一人の体力の向上に資することを期待します。なお、部活動サポーターの派遣については、教員の働き方改革の観点からもさらに増員できることを期待します。
- ② 学校保健衛生については、コロナ禍において工夫して各事業を実施していることがうかがえます。また、新型コロナウイルス感染症対策のための予防対策検討部会を立ち上げたことも評価できます。今後も子ども達の健康を保持増進するため、工夫して事業を実施してほしいと思います。

(4) 学校給食の充実

- ① 食育については、栄養教諭（栄養士）と養護教諭・学級担任が連携した様々な取組が展開されています。近年、偏った栄養摂取、朝食欠食など食生活の乱れや肥満・痩身傾向など、子ども達の健康を取り巻く問題が深刻化していることから、今後も継続した取組を期待します。
- ② 学校給食については、前年度と比べ残渣が増えているものと推測されます。再資源化の取組は継続しながら、残渣を減らす工夫をお願いしたいと思います。

2. 安全で安心できる教育環境づくり

(1) 教育環境整備の充実

- ① 令和3年度も千葉ニュータウン地区における児童生徒の急増に対応するため、校舎の増築工事等が行われました。今後も児童生徒数の推移を注視し、計画的な対応をお願いします。
- ② 就学援助に係る事業については、適切に実施され、関係の児童生徒及び家庭の大きな助けになっていると思います。今後も必要な家庭が制度を活用できるよう、周知の徹底を図るとともに、学校との連携を密にお願いします。

(2) 学校の適正規模・適正配置の推進

- ① 学校適正規模・適正配置基本方針における検討対象校である船穂小学校と本埜中学校については、令和5年度からスタートする小規模特認校制度の状況を注視して対応をお願いします。また、特認校としての状況や児童生徒数の推移等を随時保護者や地元住民と共有しながら、今後の方向性について考えていくことができればと思います。

(3) 学校安全の推進

- ① 児童虐待については、学校・関係課・関係機関等との連携事業がスタートしました。近年児童虐待の件数が増加傾向にあることから、迅速かつ適切に対応するために関係者の連携は欠くことのできないものと考えます。併せて、児童虐待の発生予防のため、普及啓発活動等にも力を入れることが重要と考えます。
- ② 児童生徒数が引き続き増加傾向にあるニュータウン地区や歩道がないなど道路状況が悪い地域における通学路の安全確保については、保護者や地域と連携した取組を進めるとともに、関係課や関係機関と連携し速やかな対応を図る必要があるものと考えます。

(4) 開かれた学校づくり

- ① 各学校が、HP を活用して積極的に学校情報を発信・公開していることがうかがえます。情報発信ツールとして HP はもちろんブログや SNS、YouTube 等を活用し、タイムリーで効果的な情報発信ができるよう、引き続き学校の支援をお願いしたいと思います。
- ② 地域人材の活用については、読み聞かせやキャリア教育等で活用が図られています。「社会に開かれた教育課程」実現の観点からも、様々な領域で更なる活用が望まれます。

(5) 情報化社会に対応した教育の推進

- ① 教育関係資料の収集・活用・提供については、教職員の授業力を向上させる方策の一つであると考えます。資料の保管や活用の状況を数値化して把握するなど、教職員の財産としてさらに活用が図れるよう工夫をお願いします。
- ② ICT の活用については、各学校が ICT を活用して創造性や思考力を育む教育を行い、次世代の人材を持続的に育成することができるよう、学校への支援を引き続きお願いしたいと思います。

《生涯学習分野》 評価者：後藤 譲委員

どの項目についても令和3年度の実績についての的確な「施策評価」「評価理由」「今後の課題」が記されています。

令和3年度は、各事業の実施状況を見ても昨年に引き続き大変に厳しい1年であったと思います。コロナ禍で実施できない事業が多くある中、A評価が令和2年度12項目から令和3年度20項目と増加した事は担当者の創意工夫と努力の結果であると思います。

Ⅱ. 生涯を通して学び、スポーツに親しめる環境づくりを推進する

1 年齢にとらわれずにいきいきと暮らすための生涯学習活動

(1) 生涯学習情報の充実

① 生涯学習ガイドの発行

発行部数300部と昨年度より大幅に増えています。また発行を今年度から8月から4月に変更したことにより、多くの活用が見られたと思います。準備等大変だと思いますが今後も4月の発行を継続してほしいと思います。

今年度発行の「生涯学習ガイド」も市民の要望に応え、幅広い情報を基に丁寧に作成されており、どの年代の人にとっても読みやすく利用しやすいと思われます。市のホームページへの掲載もアクセス数が昨年度より伸び1,000件を超え、よい取り組みと考えます。

(2) 多様な学習機会の提供

① 市民アカデミーの充実

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年とプログラムを変更し実施できたことはよかったですと思います。また、アカデミー生の自主勉強の支援を行えたこともよい取り組みだと思います。

② 公民館・地域交流館主催事業の充実

コロナ禍でもそれぞれの館が工夫して事業を進めていることがわかります。参加人数も昨年度より増加しています。市民の要望には応えられたのではないかと思います。

地域住民のニーズを得るためにアンケートを取ることや他市町の情報を得ることは今後も必要なことと思います。集客数を見ながら講座の変更や定員数の調整を考えていくべきと考えます。

③ 図書館サービスの充実

コロナ禍でありながら、延べ25万人近くの利用者がいることは市民の図書館利用への強い思いの表れであり、約84万点の資料貸し出しを行っていることは図書資料の充実と職員の努力の結果だと思います。7月から開始した電子書籍サービスでは、350点の資料の提供があり、サービスの充実が見られます。

生涯学習や地域活性化の拠点機能を担うのが文化施設です。身近な居心地のよい空間として、今後も魅力ある図書館、利用したくなる図書館への努力をお願いします。

④生涯学習まちづくり出前講座の充実

新型コロナウイルス感染症の影響で主催事業については中止しました。新型コロナウイルス感染症の流行が収まることで、事業の認知度の高まりとともに利用が伸びていくと思います。また、より専門的な知識を得たいと考える市民も増えてくると思いますので、研究・調査をして講師として出向くことは大変なことと思いますが、継続と充実を願っています。

(3) 生涯学習施設の整備・充実

①生涯学習施設の整備・充実

文化ホール・大森図書館の大規模改修工事の完了は、私たち市民にとって大変に喜ばしい事でした。今後も安全面、使いやすさを考え、継続的・計画的に公民館、地域交流館、図書館の改修を進めていくようお願いいたします。計画的に「改修」「廃止」「新築」「合併新築」「他施設への移転」等考えることも必要になってくると思います。

(4) 高等教育機関等の連携協力

①産学官民の連携・協力

順天堂大学(順天堂大学・印西市・酒々井町共催)のオンライン2回、対面2回、計4回の実施がありました。専門的分野の知識を得たい、活動したいという市民の声が増えてくると思います。今後も大学や企業の協力を求めていくことが必要と思われます。

②社会教育関係団体の支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、個人・団体へのネットワーク化の推進は、中止しました。積極的に活動している社会教育団体への支援は、今後も必要です。市民アカデミー卒業生が市民団体を立ち上げていることは、素晴らしい事と思います。更に広がりを見せるように支援をして頂きたいと思います。

2 地域で子どもたちを守り育てる環境づくり

(1) 青少年健全育成活動の推進

①「こども110番の家」の推進

こども110番運営委員会の中止はやむを得ませんが、周知を図るための活動は必要な事であったと思います。破損したり、汚れたりしているステッカーも目にしますので、交換も必要です。印西市の子どもの事故・事件は少ないのは、取り組みの効果の現れだと思えます。また、不測の事態に備え保険に加入することは、必要な取り組みです。

②青少年健全育成大会の実施

中止は残念なことですが、やむを得ません。

③地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業の充実

地域のコミュニティ作りの一つの方法としては、有効な事業と考えます。

実施可能な一部事業を実施した事は、事業の継続を考えると賢明であったと思

ます。コロナ禍での活動ですので、くれぐれも注意をして頂くようお願いします。

⑤ 放課後子ども教室の実施

昨年度中止でしたが、今年度は滝野小学校と本埜小学校で実施できたことはよかったです。コロナ禍での活動ですので、くれぐれも注意をして頂くようお願いします。

⑥ 成人記念式典の実施

新型コロナウイルス感染予防の観点から、2部制で実施したことは、賢明な処置であったと思います。

⑦ 子ども読書活動の推進

コロナ禍の影響で、図書館での読み聞かせに参加する人数がなかなか伸びない状況ですが、全体的な傾向だと思われます。学校での読み聞かせも同様の事と思いますが、学校で実施している保護者が行う読み聞かせは、素晴らしい取り組みと考えます。コロナ禍での活動ですので、感染対策を行ったうえ、実施していただくようお願いいたします。

図書館での読み聞かせは、子どもたちが本に親しみ、図書館を身近に感じるようになる良い企画と思います。継続をお願いいたします。

(2) 家庭教育の推進

① 家庭教育学級の充実

時代を超えて重要な事業ですので、コロナ禍であっても33学級が開催されたことはよかったですと思います。また、オンライン開催や家庭教育に関するおたよりの配布など、コロナ禍であっても継続できるような体制で事業ができたことはよかったですと思います。

Ⅲ. 心に豊かさをもたらす文化の保護と振興を図る

1 創造性を育む文化芸術活動の推進・継承

(1) 文化芸術に触れる機会の拡充

① 文化芸術事業の充実

日本の様々な文化・芸術に触れる機会を市民に与える事が文化ホールの存在価値であると思います。事業広報の手段や方法について拡充・検討を行い、文化ホールの役割を果たすべく事業の継続をお願いいたします。

(2) 文化芸術に触れる機会の拡充

① 文化芸術事業の支援

オンラインでの市民文化祭の実施は、大変な苦勞があったことと思いますが、多くの方が喜ばれ、楽しんだことと思います。今後も、来場者のある市民文化祭とオンラインでの市民文化祭の併用が必要になると思いますのでよろしくお願ひします。

② 地域文化活動の支援

市民の地域文化活動にはどのようなものがあるのか、市はどのような支援をして

いるのかを多くの市民に向けて啓発活動をすることで、文化活動に目を向ける市民も増えてくるのではないのでしょうか。

市民活動の発掘、活動支援の継続・充実をお願いします。

(3) 子どもをはじめとする次世代の育成

①子どもたちの文化芸術活動の充実

昨年実施できなかった文化芸術体験の体験会の公募を行い、篆刻や貝合わせの体験会が実施できよかったと思います。

②芸術文化活動を支える人材育成の推進

コロナ禍の中、自主的な文化・芸術活動の積極的支援ができよかったと思います。

2 文化財の保護・活用

(1) 文化財の保護

①指定文化財保護事業

開発が進む中で指定文化財の調査・保護していくことは大変な事ですが、年に1～2回の環境保全調査は必要と思われます。

文化財所有者に対しての指導・助言や補助金の交付は、市の財産でもある文化財を後世に残すためにも必要な事です。

②文化財基礎調査事業

後世に仏像や石造物の形を変えずに残すことは大切なことです。作られた当時の人の思いや願いを知る上で貴重な歴史資料だと思います。

③埋蔵文化財の保護事業

調査、保護、活用等については、計画通りに実施されています。調査結果については、多くの市民に伝わるようお願いします。

史跡等の整備管理については、難しい面も多くあると思いますが、十分な取り組みを望んでいます。道作古墳群見学会のように、数年に一度でよいので史跡等の見回りをし、全ての史跡が見学できるをお願いします。

(2) 文化財の活用

①文化財の活用事業

活用できる文化財は、活用してこそ価値があると思います。活用の内容や方法については、今後も検討し、市民によく伝わるようお願いします。

無形民族文化財映像記録を地域での伝承や教育に活用した事は、素晴らしい取り組みの一つです。道作古墳の発掘成果の周知は、今後も続けて欲しい事業です。

②印旛歴史民俗資料館運営事業

印旛歴史民俗資料館には、素晴らしい資料が数多く保管されています。

資料館にある昔の民具等は、見学するだけでなく使用することで、保護する事の大切さを学ぶのではないかと思います。常設展示に多くの見学者が来ています。

後世に伝えたい資料ですので、今後も展示の更新や見学しやすい環境、興味を持って体験出来るコーナー等の設置等を考えて欲しいと思います。

③郷土資料の収集・保存・展示

木下交流の杜歴史資料センターへの資料の集約化は、保全のために必要なことです。引き続き取り組みをお願いします。

④観光事業等の連携による文化財の活用

印西市には、歩いて巡る歴史探訪等のコースが多くありますので、観光事業との連携も考えられます。

観光事業の中に文化財の活用をどのように取り入れるのか、難しい課題だと思います。一つの観光事業に連携できる文化財を考えたり、その逆を考えたりする等、様々な方法があると思います。

「印旛歴史民俗資料館の老朽化による展示施設の検討や歴史資料の集約化による展示内容の充実のため、新たな歴史文化施設を含めて検討していく」とありますが、大切なことです。必要事項として取り組んで頂きたいです。

3 市史編さん事業の推進

(1) 市史編さん事業の推進

①市史編さん事業

この事業については、企画から実施まで丁寧に行われています。事業内容や実績からみて地道に事業を推進していると思います。

「印西市史史料編近代史1」は詳しくまとめてあり、読み易い市史です。より多くの人に読んで頂きたいと思います。項目ごとの市史にしても良いのではないかと思います。

(2) 地域史料の保存と活用

①地域史料の保存及び活用

古文書等の調査、収集、整理、保存については、史料の活用に向けて細かな仕事で、苦労は多いと思いますが、継続して行って頂きたいと思います。

②公文書の収集、整理保存

歴史公文書の保管総数が44,712点と毎年増えています。整理・保管は大変な作業であると思いますが、引き続き細かく行って頂きたいと思います。